

令和5年度  
林業経営コース  
研修計画書  
(シラバス)



令和5年4月

和歌山県農林大学校  
林業研修部

# 目 次

## 研修計画

1	和歌山県農林大学校林業研修部林業経営コースの研修方針	-----	1
2	シラバス	-----	2
3	評価基準	-----	5 1
4	年間計画	-----	5 2
5	林業研修部施設見取り図	-----	6 4

# 和歌山県農林大学校林業研修部林業経営コースの研修方針

和歌山県農林大学校林業研修部林業経営コースは、林業への新規就業希望者等を対象に森林・林業経営学の基礎を身につけ将来林業経営を担える人材、実践的な技術や知識を身に付けて第一線で活躍できる人材、多面的でかつ幅広い視野を持った人材の育成を目的とし、これを推し進めるため以下の方針に基づき研修を実施する。

## 1 アドミッションポリシー（研修生受入方針）

林業は、木材生産はもとより環境保全など多面的機能を有しており、また地域の主要産業の一つであります。

その林業に活力を与えそして新たな価値を創造するとともに、和歌山県林業を振興するため地域リーダーとして活躍できる意欲と能力を持った人材を育成します。

このために、次のような研修生を求めています。

- (1) 林業に興味があると同時に大きな夢を持っている人
- (2) 和歌山県の林業振興に寄与したいと考えている人
- (3) 木材の生産技術だけでなく、消費ニーズや国際情勢、経営など幅広い知識と技術の修学に積極的な人
- (4) 自然環境などの保全、持続的活用に留意した林業生産活動に興味のある人
- (5) 規律ある態度を涵養し、自立性、協調性等豊かな人間形成に努力する人
- (6) 高等学校教育課程における基礎学力を備えている人

## 2 カリキュラムポリシー（編成・実施の方針）

林業研修部林業経営コースの研修理念である『林業に活力を与えそして新たな価値を創造するとともに、和歌山県林業を振興するため地域リーダーとして活躍できる意欲と能力を持った人材を育成する』ことを実現するため、次のようなカリキュラムを提供します。

- (1) 林業に関する基礎的教科を教授しそれを具現化するために、実践力を重視した高度な技術研修を行います。
- (2) 林業を取り巻く広範な情報や技術を習得するため、実務者による講義、講演、インターンシップなど、実践的な研修を行います。
- (3) 林業の生産や経営に有為となる資格の取得を促します。
- (4) コミュニケーション力やプレゼンテーション能力を高めるための研修を取り入れます。

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【基本能力】 森林・林業の概要
講師	林業振興課職員
習得時間	1回 計6時間
背景と目的	森林・林業の基礎的知識やSDGsとの関係、和歌山県林業の概況等を学ぶ。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆森林・林業の基礎知識</li> <li>◆SDGsと森林・林業・木材産業との関係</li> <li>◆和歌山県森林・林業の概況</li> <li>◆和歌山県の林業施策</li> </ul>
研修計画	<p>○（座学）6h 林業振興課職員</p> <p>森林・林業の基礎知識 SDGsと森林・林業・木材産業との関係等 和歌山県森林・林業の概況 和歌山県林業施策（和歌山県森林・林業総合戦略等）の概要</p>
到達目標	1年間の研修を受講するために必要な、森林・林業及び和歌山県の林業に関する基礎知識を習得させる。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。
使用教材 教科書	「森林・林業及び山村の概況」のほか、参考資料を随時配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【基本能力】 林業労働と労働安全衛生
講師	・林業振興課職員 ・林業研修部職員 ・森林総合研究所職員
習得時間	3回 計12時間
背景と目的	林業における労働災害が多く、また重大事故へ繋がることから、林業労働の安全対策や安全な高性能林業機械作業等に関することを学ぶ。
研修内容	◆林業労働と安全衛生 林業労働者数の推移、林業労働災害の推移、労働安全衛生法、労災保険、安全対策への取り組み（KY活動、リスクアセスメント、防護服の必要性等）、安全な高性能林業機械作業（複数の機械による作業も含む。）に係る知識
研修計画	○（座学）3h 林業振興課職員 林業労働対策の概要  ○（座学、室内演習）6h 林業研修部職員 安全対策の取り組み 3h 安全な高性能林業機械作業に係る知識 3h  ○（座学、屋外演習）3h 森林総合研究所職員 チェーンソー防護衣類等の必要性
到達目標	労働災害、特に死亡等の重大事故を無くす。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。
使用教材教科書	「林材業におけるリスクアセスメントの手引き」のほか、講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【基本能力】 体の使い方、ケガをしない体づくり
講師	・民間専門講師
習得時間	2回 計6時間
背景と目的	林業の作業現場は主に山林内（特に急斜面）となることから、作業現場でケガをしないための体の使い方、体づくりを学ぶ。
研修内容	◆体の使い方 ◆ケガをしない体づくり
研修計画	○（屋内実習）2h 民間専門講師 ケガをしない体づくり  ○（屋外実習）4h 民間専門講師 現場での体の使い方 チェーンソーブーツでの歩行練習
到達目標	現場作業でケガをしない体の使い方を取得する。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度で評価する。 担当職員が受講態度を5段階で評価する。
使用教材 教科書	
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【基本能力】 林業算術
講師	林業研修部職員
習得時間	1回 計6時間
背景と目的	森林・林業関係でよく使用する単位や求積方法を学ぶ。
研修内容	◆林業算術 三角関数、求積公式など数学基礎の演習
研修計画	○（座学）6h 林業研修部職員
到達目標	林業で使用する初歩的な単位や求積方法を習得する。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【基本能力】 統計処理、情報処理
講師	・民間専門講師 ・林業研修部職員
習得時間	5回 計30時間
背景と目的	林業の現場においても、データ化が進み調査測量データ等の入力や処理が必須となってきたことから、森林・林業に関する調査データや販売データ等、様々な数値を適正に処理する方法を学ぶ。
研修内容	◆統計処理 統計の役割や体系、統計手法 ◆情報処理 エクセル等を活用した情報処理の演習
研修計画	○(座学) 24h 民間専門講師 ワード、エクセルの基本操作  ○(座学) 6h 林業研修部職員 CAD操作：CAD操作の基礎
到達目標	基本的な、表計算の入力作成、PCでの製図を習得する。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。
使用教材教科書	エクセルの基本や応用に関するテキスト及び講師が準備するテキストを配付する。
参考文献	
メモ	



林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【基本能力】 山登り
講師	民間専門講師、林業研修部職員等
習得時間	1回 計6時間
背景と目的	林業の作業現場は主に山林内（特に急斜面）となるため、現場で従事するための基本となる山登り（歩き）を体験するとともに、地図の見方等も学ぶ。
研修内容	◆山を登る、下る 疲れしない登り方、下り方 ◆地図の見方等
研修計画	○（屋外実習）6h 林業研修部職員等  ※北海道大学北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林（古座川町）
到達目標	疲れしない登り方、下り方を習得し、地図の読み方を学習する。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階にて評価する。
使用教材 教科書	
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【基本能力】 プレゼンテーション
講師	民間専門講師
習得時間	1回 計6時間
背景と目的	施業する上で集約化は必然的に行う必要があり、所有者等への説明に必要なプレゼンテーションの基礎的な理論を理解し、発表、説明、説得等の技法を学ぶ。
研修内容	◆プレゼンテーションの基礎 プレゼンテーションを成功させるコツ、わかりやすい話の組み手方 講義と演習を繰り返し行い、課題点を確認 明確になった課題を踏まえ、プレゼンテーションの仕上げ
研修計画	○（座学、室内演習）6h 民間専門講師 パワーポイントの操作
到達目標	パワーポイントを使用し、プレゼンテーションが出来るような、話し方等を習得させる。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、プレゼンテーションの仕上がり度で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、プレゼンテーションの仕上がり度を5段階で評価する。
使用教材教科書	パワーポイントの基本、応用に関するテキスト及び講師が準備するテキストを配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【基本能力】 自己研鑽セミナー
講師	・民間専門講師 ・林業研修部職員
習得時間	10回 計60時間
背景と目的	集約化を行う中で自らの考えを確立し、提案ができるようにするため、自ら考えた課題への企画を立案し、その過程で自己の立ち位置や将来像を明確化させるとともに、聞き取り調査等を通じてコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を図る。
研修内容	◆「山側からどのように販売すれば山に利益が残せるか」について考えさせ、課題について情報収集を行い、成果発表をする。
研修計画	○（座学）12h 民間専門講師 グループワーク、チームビルディング 人生論・リーダー論・組織論等について  ○（座学）12h 民間専門講師 目標設定と研究テーマの考察 ビジョンマップ作成、研究テーマの設定  ○（座学）12h 民間専門講師 研究結果のまとめ アイデンティティの確立  ○（座学）12h 林業研修部職員 プレゼン資料作成  ○（座学）12h 民間専門講師、林業研修部職員 プレゼン資料仕上げ、報告会
到達目標	自身の考えを具体的に示し、表現出来る方法を習得させる。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、プレゼンテーションの仕上がり度で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、プレゼンテーションの仕上がり度を5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備するテキストを配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【基本能力】 コミュニケーション能力
講師	民間専門講師
習得時間	1回 計6時間
背景と目的	研修生には県内移住希望者等もいることから、職場や就業後の定住に向けたコミュニケーションを学ぶ。
研修内容	◆コミュニケーション力を高めるには？
研修計画	○（座学、室内演習）6h 民間専門講師 コミュニケーション力を高める。  ※以下の内容はスキルアップコースと合同で受講する講習及びインターンシップの際に行う。 ◇先輩定住者の話を聞く Iターン等で山村地域に移住し定住している先輩の話を聞く。
到達目標	職場での必要最低限のコミュニケーションや移住後の地元とのコミュニケーションを学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、演習での理解度で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、演習を5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【育林・造林技術】 樹木
講師	・林業試験場職員、林業普及指導員等 ・民間専門講師
習得時間	3回 計18時間
背景と目的	天然林と人工林の識別や樹木の多様な用途を学び、基本的な種類、有用樹種を識別できる能力を身につける。
研修内容	◆樹木同定の基礎 葉や幹の特徴から樹木を同定 ◆樹木の同定 野外での樹木同定
研修計画	○（座学）6h 林業試験場職員等 針葉樹と広葉樹の違い、樹木同定の基礎 ※林業試験場構内・小教室にて  ○（屋外実技）6h 林業試験場職員等 植生観察、樹木識別  ○（座学）6h 民間専門講師 森林生態の基礎
到達目標	基礎的な樹種の判別を学び、その用途を習得させる。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、同定試験で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、同定試験の正解率を5段階で評価する。
使用教材 教科書	樹木図鑑を活用するほか、講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【育林・造林技術】 育苗技術
講師	・林業試験場職員、林業普及指導員等 ・民間専門講師 ・紀北農芸高等学校教員
習得時間	4回 計21時間
背景と目的	利用期を迎えた森林を伐採し、再造林による適切な更新が必要となる中、コンテナ苗を用いた伐採・植栽一貫システムの導入やエリートツリー等の活用による造林・保育作業の低コスト化を図ることが重要である。 このため、和歌山県の育種の実践や、林木育種の基礎や遺伝育種の理論と、通常苗・コンテナ苗等の育苗から出荷までを学ぶ。
研修内容	◆育苗の基礎 土壌、施肥、実生苗、挿し木苗 ◆林木育種の基礎、森林の遺伝的管理 目的、集団選抜、遺伝的多様性 ◆造林技術の育苗と管理技術 苗作りから育苗の一通りの作業を体験
研修計画	○（座学、実習）6h 林業試験場職員等 育苗の基礎、林木育種の基礎、森林の遺伝的管理（エリートツリー等） 3h  育苗と管理技術 3h ※中辺路試験地等  ○（実習）6h 民間専門講師 コンテナ苗等の育苗と管理技術 ※民間事業体  ○（実習）3h 紀北農芸高等学校教員 育苗と管理技術 ※熊野高等学校  ○（実習）6h 林業試験場職員等 挿し木苗等作業体験等 ※中辺路試験地
到達目標	育苗の方法や管理技術等を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポート・実習を5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【育林・造林技術】 病虫害対策
講師	林業試験場職員、林業普及指導員等
習得時間	1回 計6時間
背景と目的	松枯れやナラ枯れ、あかね材と言った病虫害が発生していることから、その被害木の判別、病虫害の種類、原因、診断法及び防除法等を学ぶ。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆樹木の病虫害の種類と防除法 原因、被害に応じた防除法</li> <li>◆スギノアカネトラカミキリ、松くい虫、カシノナガクイムシによる被害メカニズムや被害実態や防除法</li> </ul>
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（座学、現地見学）6 h 林業試験場職員等</li> <li>種類と防除方法 3 h</li> <li>被害木の確認 3 h</li> </ul>
到達目標	被害木の判別方法を習得し、防除方法を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【育林・造林技術】 育林技術 (刈払機取扱い作業安全衛生教育 5.5h 含む。)
講師	・林業研修部職員 ・和歌山森林管理署職員 ・民間専門講師 ・講師補助員：林業経営コース修了生
習得時間	13回 計78時間
背景と目的	人工林に必要な育林の目的や管理を行うための技術体系を理解するため、必要な基礎知識、育林作業の目的と基本的な技術を学ぶ。 また、間伐については、その必要性と目的に合わせた選木方法などを学ぶ。
研修内容	◆地拵え・植栽 樹種の特性、適地適木、地拵え・植栽方法 ◆下刈り・除伐・枝打ち 目的、方法、省力化の検討 ◆間伐 間伐方法（定性・定量など）、密度管理 ◆育林作業実習
研修計画	○（座学）6h 林業研修部職員 下刈りの目的等 0.5h 刈払機取扱い作業安全衛生教育 5.5h （刈払機に関する知識 1h） （刈払機を使用する作業に関する知識 1h） （振動障害及びその予防に関する知識 2h） （刈払機関係法令 0.5h） （刈払機の作業 1h） ○（座学）6h 林業研修部職員 地拵え・植栽・一貫作業システム・除伐・枝打ちの目的等 ○（座学）6h 林業研修部職員 間伐の目的等 ○（実習）30h 民間専門講師、林業経営コース修了生、林業研修部職員 道具の使い方と手入れ ○（実習）12h 民間専門講師、林業経営コース修了生、林業研修部職員 下刈り実習 ○（実習）6h 和歌山森林管理署職員 植栽実習（コンテナ苗の植栽） ※国有林（和歌山県内） ○（実習）12h 民間専門講師、林業経営コース修了生 枝打ち実習
到達目標	人工林の育林に必要な基礎知識、技術を習得させる。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、レポート、実習の出来栄等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポート・実習を5段階で評価する。
使用教材教科書	「刈払機作業安全衛生教育用テキスト」及び講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	



林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【育林・造林技術】 伐木・造材 (伐木等の業務に係る特別教育 14h 含む。)
講師	・林業研修部職員 ・民間専門講師 ・講師補助員：林業経営コース修了生 ・森林総合研究所研究員
習得時間	23回 計 134時間
背景と目的	林業生産活動の中でも重大事故の発生頻度が高い伐木・造材作業を安全に行うため、この作業に関する技術を繰り返し学ぶ。
研修内容	◆伐木技術の理論と実技 ◆様々な伐採方法 牽引具の使用、地形や集材方法を考慮した伐採方法 ◆林内作業車による集材・運材
研修計画	○ (座学) 伐木等の業務に係る特別教育 7h 林業研修部職員 伐木等作業に関する知識 4h 振動障害及びその予防に関する知識 2h 関係法令 1h ○ (実技) 伐木等の業務に係る特別教育 7h 林業研修部職員 伐木の方法 5h (傾斜伐倒練習機・風倒木処理練習機・かかり木処理練習機を使用) チェーンソーの操作 2h ○ (座学) 3h 林業研修部職員 森林整備の基本 ○ (演習) 60h 民間専門講師、林業経営コース修了生、林業研修部職員 森林整備演習：水上試験研修林等における保育間伐等の演習 (一部傾斜伐倒練習機・風倒木処理練習機・かかり木処理練習機を使用) ○ (座学) 9h 森林総合研究所研究員、民間専門講師 伐木造材作業の労働安全性向上 ○ (演習) 48h 民間専門講師、林業経営コース修了生、林業研修部職員 水上試験研修林等における収入間伐等の演習 (一部皆伐) (多機能アタッチメント付き車両系林業機械、林業仕様ダンプトラックを使用) 伐木VRシミュレータによる被災体験 OTRSを使った時間・動作分析
到達目標	安全に伐倒するための受け口・追い口の作り方、地形や集材方法を考慮した伐採方法を習得させる。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、実習の出来栄等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率で5段階、実習の出来栄を5段階で評価する。
使用教材教科書	「チェーンソー作業の安全ナビ」及び講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林・林業経営】 先進事例
講師	林業研修部職員
習得時間	1回 計3時間
背景と目的	全国の林業に関する優良事例や最新情報等から森林及び林業の動向等を分析する。
研修内容	◆林業白書に掲載されている事例等から、林業の動向や林業施策に関する最新情報を分析
研修計画	○（座学）3h 林業研修部職員 森林及び林業の動向
到達目標	全国の優良事例から森林及び林業の最新情報を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、レポート提出で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、レポートを5段階で評価する。
使用教材 教科書	「林業白書」を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林・林業経営】 経営を学ぶ
講師	・林業研修部職員 ・民間専門講師
習得時間	9回 計48時間
背景と目的	森林組合・民間事業体などの経営形態を理解するとともに、林業経営に関する基礎的な知識と経営体の持つ優れた経営管理手法を学ぶ。 また、現地視察を通して先進林業経営体から経営のノウハウを学ぶ。
研修内容	◆経営の基本 これまでの林業経営と、これからの林業経営 ◆林業経営の効率化に向けた取組 特徴的な取組を行っている林業事業体の経営状況や作業システム等を視察
研修計画	○経営の基本（座学）12h 林業事業体の概要 3h 林業研修部職員  森林組合・森林所有者による林業経営 3h 民間専門講師  林業事業体会計 6h 民間専門講師  ○財務諸表の読み方（座学）18h 民間専門講師  ○林業経営の効率化に向けた取組 （現地視察）6h 民間専門講師 伐採と植栽の一貫システムの推進とコンテナ苗の活用  （現地視察）6h 民間専門講師 高性能林業機械をフル活用した林業経営  （現地視察）6h 民間専門講師 自伐林家による複合経営
到達目標	就業に向けて、森林組合や民間事業体、森林所有者による林業経営を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、レポート提出等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポートを5段階で評価する。
使用教材教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林・林業経営】 木材生産
講師	・林業研修部職員 ・民間専門講師
習得時間	5回 計30時間
背景と目的	林業機械を有効に活用した木材生産が主流となっていることから、林業機械の特性を把握し、地形に応じた最適作業システム理論を学ぶ。
研修内容	◆林業機械による集運材 林道、林業専用道、森林作業道の開設及び活用 伐木・造材機械、走行集材機械の種類及び特性 架線系林業機械の種類及び特性 ◆現地での機械組み合わせの検討 ◆生産性、コスト分析
研修計画	○（座学）6h 民間専門講師 林道等の活用、車両系林業機械の特性、架線系林業機械の特性 高性能林業機械を使用した作業システム  ○（座学、演習）6h 民間専門講師 林業機械の活用方法、組み合わせ、操作体験及び林業専用道の活用  ○（座学、演習）6h 林業研修部職員 作業工程の把握、生産性の算出  ○（座学、演習）6h 民間専門講師 作業日報による生産性の算出、コスト分析  ○（演習）6h 民間専門講師 林業機械の生産性に影響する林相、路網整備
到達目標	効率的な林業機械の活用を自ら考え、道の作設や機械配置等が出来るよう、最適作業システムを学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、レポート等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポートを5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林・林業経営】 森林計画制度及び森林経営管理制度の概要
講師	・林業振興課職員 ・森林整備課職員
習得時間	2回 計9時間
背景と目的	林業の従事する際に必要となる森林法や森林計画制度、森林経営管理制度等の概要と関連する事項について学ぶ。
研修内容	◆森林法と森林・林業基本法 ◆森林計画制度 全国森林計画、地域森林計画、市町村林振整備計画 ◆森林経営管理制度及び森林環境譲与税（戦後林政の動向と併せて） ◆関連する制度 保安林制度、林地開発制度、伐採及び伐採後の造林の届出制度、森林認証制度
研修計画	○（座学）6h 林業振興課計画班職員 森林法、森林・林業基本法、森林計画制度、森林経営管理制度及び森林環境譲与税、森林認証制度  ○（座学）3h 森林整備課治山班職員 保安林制度、林地開発制度、伐採及び伐採後の造林の届出制度
到達目標	森林計画制度や森林経営管理制度、保安林制度、伐採等の届出制度、森林認証制度について学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林・林業経営】 森林経営計画
講師	・林業振興課職員 ・民間専門講師 ・森林整備課職員
習得時間	5回 計21時間
背景と目的	木材生産や保育を行う上で必要な森林経営計画の概要・作成方法、造林関係補助事業の概要について学ぶ。
研修内容	◆森林経営計画制度 計画の目的・対象森林・作成者・認定要件、造林関係補助事業等の支援措置 ◆作成演習 森林組合等実務者からの作成指導
研修計画	○（座学）3h 林業振興課職員 ゾーニングへの取り組み 森林経営計画制度、作成の基本  ○（座学、演習）6h 民間専門講師 作成の基本、作成演習  ○（演習）6h 民間専門講師 作成演習  ○（演習）3h 民間専門講師 作成演習、仕上げ  ○（座学）3h 森林整備課職員 造林関係補助事業の概要
到達目標	森林経営計画の概要・作成方法、造林関係補助事業の概要を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、演習内容等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、演習を5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林・林業経営】 提案型集約化施業
講師	・林業研修部職員 ・林業普及指導員等
習得時間	3回 計18時間
背景と目的	木材生産や保育を効率的に実施するためには、森林経営計画の作成は必須であり、また集約化施業が必要なことから、提案型集約化施業の概要、森林所有者に対し施業内容やコストを提示する提案型の施業方法を学ぶ。
研修内容	◆提案型集約化施業とは 森林施業提案書、低コスト生産、所有者への還元 ◆演習 講師指導のもと、提案書の作成
研修計画	○（座学）6h 林業普及指導員等 提案型集約化施業の概要  ○（現地調査）6h 林業普及指導員等 立木調査、標準木調査  ○（演習）6h 林業普及指導員等 作成演習、仕上げ
到達目標	提案型集約化施業の概要、作成方法を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、演習内容で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、実習を5段階にて評価する。
使用教材 教科書	「提案型集約化施業基本テキスト」のほか講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【木材利用】 木材加工
講師	・林業試験場職員（木材利用部）、林業普及指導員等
習得時間	2回 計12時間
背景と目的	丸太から製品への製造工程等を理解するため、木材の特性（比重、含水率、強度等）や木材製品とその製造・加工方法を学ぶ。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆木材の材質的特性 細胞構造、物理特性(比重、含水率)、機械的特性（強度等）</li> <li>◆各特性を計測 含水率（全乾法、含水率計）</li> <li>◆木材製品とその加工方法 集成材、合板、CLT、LVL、木質繊維板</li> </ul>
研修計画	○（座学、一部実習）12h 林業試験場木材利用部職員等 木材とその加工 材質的特性、含水率、集成材、合板、CLT、LVL、木質繊維板
到達目標	木材の特性や木材製品とその製造・加工方法を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、レポート提出、実習内容で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポート・実習を5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料及び高等学校教科書「林産物利用」を配付する。
参考文献	
メモ	



林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【木材利用】 木材産業
講師	・林業振興課職員 ・民間専門講師 ・みえ森林・林業アカデミー講師
習得時間	8回 計42時間
背景と目的	木材生産の採算性等を上げるためには、生産された丸太が、どのような流通経路を辿り、どのように利用されているのかを知ることが必要なので、木材の加工から流通、住宅利用、木質バイオマス利用等に関することを学ぶ。
研修内容	◆原木の取扱い 用途区分 (A・B・C・D材) ◆製材の基本 原木の性状、木取り、歩留まり ◆木材乾燥の基本 乾燥方法 (天然、人工)、人工乾燥機械の種類 ◆木材の流通 生産・消費～輸出まで ◆木質バイオマスとは 種類、利用状況及び形態 ◆利用状況を現地視察 ◆「みえ森林・林業アカデミー」での受講 素材の有利販売につながる川下マーケット等の知識習得
研修計画	○ (座学) 3h 林業振興課木材産業班職員、林業試験場職員、民間専門講師 木材流通と木材産業の概要 ○ (座学、見学) 18h 民間専門講師 コーディネーター (林業試験場職員又は民間専門講師) 原木の取扱い、製材・プレカットの基本、木材乾燥 (民間事業体) ○ (座学、現地視察) 6h 民間専門講師 木材流通 (住友林業の概要、外材・国産材ストック倉庫、集成材工場見学) ○ (見学) 3h 民間専門講師 木材流通における原木市場の機能・今後の展望 原木市場 (西牟婁地域) ○ (座学、見学) 6h 林業振興課職員 木質バイオマスのエネルギー・マテリアル利用 見学：県内木質バイオマス利用施設 (木質バイオマス発電所) ○ (座学、見学) 6h みえ森林・林業アカデミー講師 みえ森林・林業アカデミー (三重県林業研究所)
到達目標	木材の加工・流通から利用までを一体的に学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、レポート等提出で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポートを5段階で評価する。
使用教材教科書	講師が準備する資料及び高等学校教科書「林産物利用」を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【木材利用】 木造建築
講師	・民間専門講師 ・林業振興課職員 ・公共建築課職員
習得時間	4回 21時間
背景と目的	木造建築における部材、構造、法令による規制や非住宅分野での木材利用等を学ぶ。
研修内容	◆木造建築の全体像 自然環境、地域の材料と木造建築 ◆木造建築生産の流れ 材料・流通～構造～性能～設計・建築を地域材に触れ体感
研修計画	○（座学、実習）12h 民間専門講師 木造建築の基本  ○（見学）3h 民間専門講師 木造建築物見学（木造住宅）  ○（見学）6h 林業振興課職員・公共建築課職員 木造建築物見学（非住宅建築物）
到達目標	造材時にどの部材等へ使用できるかなどを考えられるよう、木造建築の構造、部材、法令等を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、レポート提出で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、レポートを5段階で評価する。
使用教材教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林路網・計測】 森林情報
講師	・林業研修部職員 ・民間専門講師
習得時間	11回 計66時間
背景と目的	森林資源情報の解析や事業体で活用しているGIS等を利用できるよう、森林クラウド、コンパス測量、GNSS測量システム、GIS利用、ドローン等を活用した森林管理技術を学ぶ。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コンパス測量 測定の基本、測量方法、製図</li> <li>◆GNSS測量 観測方法の基本、測量方法</li> <li>◆GIS利用 GISとは その活用方法</li> <li>◆森林測量の実践的な技術の演習</li> <li>◆航空レーザ計測データによる森林資源情報分析</li> <li>◆OWLを使った森林情報分析</li> </ul>
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(座学、実習) 6h 林業研修部職員 コンパス測定の基本、周囲測量</li> <li>○(演習) 6h 林業研修部職員 コンパス測量成果を製図、面積算出</li> <li>○(実習) 12h 林業研修部職員 森林調査実習(レーザ距離計搭載コンパスを使用) OWLを使った森林情報分析 ※水上試験研修林等</li> <li>○(座学、室内演習) 6h 民間専門講師 GISの基礎・基本操作</li> <li>○(座学、実習) 6h 民間専門講師 GNSS測量観測方法の基本、測量方法、測量実習、ドローンの活用</li> <li>○(座学、室内演習) 6h 民間専門講師 森林管理手法の取り組み事例 GISの活用・林相判読</li> <li>○(座学、実習) 24h 民間専門講師 航空レーザやドローンの計測データによる森林資源の情報分析・管理、 生産計画作成等への活用</li> </ul>
到達目標	GISやGNSS測量等を利用・操作・活用できるよう、基礎知識や操作方法、活用手法を習得させる。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、レポート・演習結果等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポート・演習を5段階で評価する。
使用教材教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林路網・計測】 地形と地質
講師等	・和歌山県立自然博物館職員 ・民間専門講師
習得時間	5回 30時間
背景と目的	適正な森林管理や安全な木材生産、作業道作設等に必要となる地形・地質の基礎や和歌山県の特徴などを学ぶ。
研修内容	◆和歌山県の地形・地質 ◆地形と区分
研修計画	○（座学・現地見学） <del>6h</del> 12h 和歌山県立自然博物館職員 和歌山県の地形・地質の特徴  ○（座学・実習）18h 民間専門講師 森林を読む
到達目標	地質等による樹種や成長の違い、作業道作設時の地形等の見分け方を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、レポート提出等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポートを5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林路網・計測】 作業道作設技術
講師	・林業研修部職員 ・民間専門講師 ・講師補助員：林業経営コース修了生
習得時間	12回 計72時間
背景と目的	森林整備を促進する森林作業道の開設・維持に必要な森林測量・図化及び機械の操作方法等を学ぶ。
研修内容	◆森林測量 実践的な技術演習 ◆図化技術 実践的な技術演習 ◆作設技術 作設技術の実習 ◆OTRS使った時間・動作分析
研修計画	○（座学）6h 林業研修部職員、民間専門講師 作業道の概要  ○（座学、見学）6h 民間専門講師 既設作業道の見学  ○（実習）6h 民間専門講師 現地踏査、測量 ※水上試験研修林等  ○（実習）計54h 民間専門講師、林業経営コース修了生、林業研修部職員 バックホウの基本操作 （多機能アタッチメント付き車両系林業機械、林業仕様ダンプトラックを使用） 作設実習、補修実習 OTRS使った時間・動作分析 ※水上試験研修林等
到達目標	作業道作設に係る測量等やバックホウの基本操作を習得する。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、レポート提出、小テスト、実習出来栄等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポート・実習を5段階で評価する。
使用教材教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【里山保全】 鳥獣害対策
講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境室職員</li> <li>・林業試験場職員</li> <li>・和歌山森林管理署職員</li> <li>・民間専門講師</li> <li>・西牟婁振興局鳥獣害対策担当職員</li> </ul>
習得時間	5回 計25時間
背景と目的	<p>植栽後の樹木に獣害が多発しているため、森林の育成及び管理の課程で発生する鳥獣害の種類・原因及び防除方法を学ぶ。</p> <p>また、野生生物保護管理についても学ぶ。</p>
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆動物による被害と防除法 被害状況、加害種と被害形態、生態と特徴、加害種と防除法</li> <li>◆鳥獣保護管理と野生生物保護 野生生物保護管理の考え方</li> <li>◆駆除後の処理方法 食肉としての処理加工方法</li> </ul>
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（座学）6h 鳥獣害保護管理と野生生物保護 3h 自然環境室職員 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣保護管理事業計画、生物多様性和歌山戦略 被害と防除法 3h 林業試験場経営環境部職員</li> <li>○（実習）6h 和歌山森林管理署職員 防除ネット設置作業体験（国有林内）</li> <li>○（見学、実習）6h 民間専門講師 防除ネット設置状況、ネットメンテナンス</li> <li>○（座学）3h 西牟婁振興局鳥獣害対策担当職員 わなの設置や捕獲状況、狩猟免許の概要等</li> <li>○（見学）3h 民間専門講師 紀州ジビエ生産販売企業組合施設見学等</li> </ul>
到達目標	就業後の実践に向け鳥獣害の種類・原因及び防除方法を学ぶ。
成績評価の方法・基準	<p>出席及び受講態度、小テスト、レポート提出で評価する。</p> <p>担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポートを5段階で評価する。</p>
使用教材教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【里山保全】 特用林産
講師	・林業振興課職員 ・林業試験場職員 ・民間専門講師
習得時間	3回 計18時間
背景と目的	森林所有者の副収入源となり、山村地域の活性化を図る特用林産物について、和歌山県を代表する紀州備長炭のほか、山菜類、花木等の生産方法や活用方法を学ぶ。
研修内容	◆特用林産物の概要 特用林産物の種類とその利用 ◆白炭と黒炭 紀州備長炭の特性 ◆特用林産物の生産現場見学 備長炭、コウヤマキの生産現場見学
研修計画	○（座学、見学） 特用林産物の概要 3 h 林業振興課職員 コウヤマキ現場見学 3 h 民間専門講師  ○（座学、見学）6 h 林業試験場特用林産部職員 様々な特用林産物の栽培 ※林業試験場内  ○（見学）6 h 民間専門講師 備長炭生産現場、原木林見学
到達目標	紀州備長炭を含む特用林産物の特性や利活用について学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、レポート提出で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポートを5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【林業機械】 林業機械化概論
講師	林業研修部職員
習得時間	1回 計3時間
背景と目的	木材生産現場における高性能林業機械等の活用が普及してきたことから、林業機械の種類、機械化の意義、目的、問題点、労働安全衛生について学ぶ。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆林業機械の種類 従来型機械、高性能林業機械、次世代型林業機械</li> <li>◆機械化の意義、目的 生産性の向上、労働強度の低減、労働災害の防止</li> <li>◆問題点 高価格、稼働率</li> </ul>
研修計画	○（座学）3h 林業研修部職員 林業機械の種類、機械化の意義、目的、問題点
到達目標	高性能林業機械の基礎知識や問題点を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テストで評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	



林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【林業機械】 林業機械の点検及び整備 (伐木等の業務に係る特別教育4h、刈払機取扱い作業安全衛生教育0.5h含む。)
講師	・民間専門講師
習得時間	3回 計18時間
背景と目的	林業作業で頻繁に使用するチェーンソーや刈払機の整備方法を学ぶ。
研修内容	◆チェーンソーの分解組立 ◆刈払機の分解組立
研修計画	○(座学、実技)6h 民間専門講師 チェーンソーに関する知識(学科)2h チェーンソーの点検及び整備(実習)4h 【うち4hは伐木等の業務に係る特別教育(学科2h、実習2h)】  ○(実技)6h 民間専門講師 チェーンソーの点検及び整備  ○(座学、実習)6h 民間専門講師 刈払機の点検及び整備 【うち0.5hは刈払機取扱い作業安全衛生教育(学科)】
到達目標	チェーンソーや刈払機の整備について学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、組立完了で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、組立完了を5段階で評価する。
使用教材 教科書	チェーンソー作業の安全ナビ(特別教育テキスト) ソーチェーンの正しい目立て、チェーンソー・刈払機の知識と取り扱い
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【林業機械】 高性能林業機械操作
講師	・ 林業研修部職員 ・ 民間専門講師
習得時間	11回 計60時間
背景と目的	労働の生産性・安全性の向上を図るため、高性能林業機械を使用した作業システムやその操作方法を学ぶ。
研修内容	◆プロセッサ、フォワーダ、スイングヤード、多機能アタッチメント付き車両系林業機械の基本操作 グラウンドでの基本操作の復習、現地土場・作業道上での基本操作 作業効率を考慮した応用作業 部品交換等の点検・メンテナンス
研修計画	○（演習）60h 民間専門講師、林業研修部職員 土場や作業道での基本操作 作業効率を考慮した機械の配置・操作方法 部品交換等の点検・メンテナンス ハーバスタシミュレータを使用した練習 OTRSを使った時間・動作分析 （多機能アタッチメント付き車両系林業機械、林業仕様ダンプトラックを使用）
到達目標	高性能林業機械の基本操作を取得し、効率的な配置等を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、基本操作性で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、基本操作を5段階で評価する。
使用教材 教科書	
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【林業機械】 機械式集材機と油圧式集材機
講師	・民間専門講師
習得時間	3回 計15時間
背景と目的	和歌山県は急峻な地形が多く、架線による長距離集材作業も盛んに行われていることから、集材機の種類や操作方法等を学ぶ。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆従来型集材機 機械式集材機の特徴</li> <li>◆最新式集材機 油圧式集材機の特徴</li> <li>◆現地での操作体験</li> </ul>
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（座学）3h 民間専門講師 集材機の種類、特性</li> <li>○（現地見学）6h 民間専門講師 架線集材現地見学</li> <li>○（実習）6h 民間専門講師 油圧式集材機・架線式グラップル操作 （多機能アタッチメント付き車両系林業機械使用）</li> </ul>
到達目標	機械式集材機と油圧式集材機の特徴や違いを学ぶほか、油圧式集材機と架線式グラップルの基本操作を取得する。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、レポート提出で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、レポートを5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【林業機械】 無人航空機（ドローン）
講師	・民間専門講師 ・林業研修部職員
習得時間	3回 計18時間
背景と目的	林業現場における無人航空機（ドローン）の利用が拡大しているため、無人航空機の種類や用途、関係法令、基本操作について学ぶ。
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆無人航空機の種類 無人の回転翼航空機、固定翼航空機、滑空機</li> <li>◆用途 測量、林業架線の索張り、苗木等の運搬</li> <li>◆関係法令 航空法、小型無人機等飛行禁止法、都道府県・市町村条例など</li> <li>◆基本操作</li> </ul>
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（座学）6h 民間専門講師 無人航空機（ドローン）の種類、用途、関係法令</li> <li>○（演習）12h 民間専門講師、林業研修部職員 測量、林業架線の索張り、苗木等の運搬の操作方法</li> </ul>
到達目標	無人航空機（ドローン）を安全・効率的に活用できるよう、関係法令等の基礎知識や各種作業に対応した操作方法等を習得させる。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト、演習結果等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階、演習を5段階で評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【森林評価】 森林・木材の適正評価
講師	・民間専門講師
習得時間	4回 計24時間
背景と目的	林業経営を行うには、森林を適正に評価することが必要であるため、森林調査や木取り方法、製材方法等を学ぶ。
研修内容	◆森林評価 標準木評価、原木適正評価、最適木取り方法
研修計画	○（座学・実習）24h 民間専門講師 「山の棚おろし」 森林評価方法、山の評価、原木評価、木取り、製材、まとめ
到達目標	森林評価の方法や、木取り・製材について学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、レポート提出で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、レポートを5段階にて評価する。
使用教材 教科書	講師が準備する資料を配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【外部】 インターンシップ
講師	・林業研修部職員 ・受入事業体
習得時間	35回 計210時間
背景と目的	関心のある職場における業務等の体験を通して就業への意識を高めるとともに、林業担い手としての必要な勤労精神と社会性を学ぶ。
研修内容	◆受け入れ事業体での実践的な現場体験 ◆研修記録簿、研修日誌の作成
研修計画	○インターンシップ研修説明 12h 林業研修部職員、受入事業体 インターンシップ受入事業体の概要説明、個別相談  ○インターンシップ研修準備 各1日：3回 18h  ○第1回（10月頃：土日祝日を除く10日間） 計60h 受入事業体①  ○第2回（12月頃：土日祝日を除く10日間） 計60h 受入事業体②  ○第3回（1月頃：土日祝日を除く10日間） 計60h 受入事業体③
到達目標	就業への意識を高め、実践的な現場を体験する。
成績評価の方法・基準	受け入れ事業体からの評価内容で評価する。 受け入れ事業体からの評価内容を5段階にて評価する。
使用教材 教科書	
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 普通救命講習
講師	・消防署職員 ・日本赤十字社職員
習得時間	2回 計6時間
背景と目的	林業の作業現場における労働災害率が高いことから、現場での救命処置ができるよう、心肺蘇生法（胸骨圧迫・人工呼吸）やAEDの使用法、止血方法等を学ぶ。
研修内容	救命処置に関する知識を習得させる。
研修計画	○（屋内実習）3h 消防署職員 普通救命講習 応急手当・救命処置講習、一次救命処置（BLS）講習  ○（屋内実習）3h 日本赤十字社職員 救急講習
到達目標	作業現場での救命措置等ができるよう、心肺蘇生法等を学ぶ。
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度で評価する。 担当職員が受講態度を5段階にて評価する。
使用教材 教科書	講師が作成するテキストを配付する。
参考文献	
メモ	

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】刈払機取扱い作業安全衛生教育 (「育林技術」「林業機械の点検及び整備」に含まれる。)																																						
講師	・林業研修部職員 ・民間専門講師																																						
習得時間	3回 計6時間																																						
背景と目的	刈払機を使用する作業の安全を確保するとともに、刈払機取扱い作業に対する振動障害を防止するための必要な知識等を学ぶ。																																						
研修内容	刈払機取扱い作業に関する知識を習得させる。																																						
研修計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学科・実習別</th> <th>時間数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>刈払機に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>刈払機の構造及び機能の概要 刈払機の選定</td> </tr> <tr> <td>刈払機を使用する作業に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>作業計画の作成等 刈払機の取扱い 作業の方法</td> </tr> <tr> <td>刈払機の点検及び整備に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>0.5</td> <td>刈払機の点検・整備 刈刃の目立て</td> </tr> <tr> <td>振動障害及びその予防に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>2</td> <td>振動障害の原因及び症状 振動障害の予防措置</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>学 科</td> <td>0.5</td> <td>労働安全衛生関係法令中の関係条項及び関係通達中の関係条項</td> </tr> <tr> <td>刈払機の作業等</td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td>刈払機の取扱い 作業の方法 刈払機の点検・整備の方法等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学 科</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	学科・実習別	時間数	内 容	刈払機に関する知識	学 科	1	刈払機の構造及び機能の概要 刈払機の選定	刈払機を使用する作業に関する知識	学 科	1	作業計画の作成等 刈払機の取扱い 作業の方法	刈払機の点検及び整備に関する知識	学 科	0.5	刈払機の点検・整備 刈刃の目立て	振動障害及びその予防に関する知識	学 科	2	振動障害の原因及び症状 振動障害の予防措置	関係法令	学 科	0.5	労働安全衛生関係法令中の関係条項及び関係通達中の関係条項	刈払機の作業等	実 習	1	刈払機の取扱い 作業の方法 刈払機の点検・整備の方法等		学 科	5			実 習	1	
項目	学科・実習別	時間数	内 容																																				
刈払機に関する知識	学 科	1	刈払機の構造及び機能の概要 刈払機の選定																																				
刈払機を使用する作業に関する知識	学 科	1	作業計画の作成等 刈払機の取扱い 作業の方法																																				
刈払機の点検及び整備に関する知識	学 科	0.5	刈払機の点検・整備 刈刃の目立て																																				
振動障害及びその予防に関する知識	学 科	2	振動障害の原因及び症状 振動障害の予防措置																																				
関係法令	学 科	0.5	労働安全衛生関係法令中の関係条項及び関係通達中の関係条項																																				
刈払機の作業等	実 習	1	刈払機の取扱い 作業の方法 刈払機の点検・整備の方法等																																				
	学 科	5																																					
	実 習	1																																					
到達目標	刈払機による作業時の安全確保等を学び資格を取得させる。																																						
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。																																						
使用教材教科書	「安全な刈払機作業のポイント」を配付する。 (発行元：林業・木材製造業労働災害防止協会)																																						
参考文献																																							
メモ																																							



林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 荷役運搬機械によるはい作業安全教育																										
講師	・民間専門講師																										
習得時間	1回 計5時間																										
背景と目的	荷役運搬機械等によるはい作業を安全に進めるための必要な知識を学び、労働災害防止を図る。																										
研修内容	はい作業に関する知識を習得させる。																										
研修計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学科・実習別</th> <th>時間数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はいに関する知識</td> <td>学 科</td> <td>0.5</td> <td>はいの種類 はいの型</td> </tr> <tr> <td>荷役運搬機械等によるはい作業の方法等に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>2.5</td> <td>荷役運搬機械等によるはい付け及びはいくずしの方法 荷役運搬機械等の点検及び整備の方法</td> </tr> <tr> <td>災害事例</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>災害事例研究</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>労働安全衛生関係法令中の関係条項</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学 科</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	学科・実習別	時間数	内 容	はいに関する知識	学 科	0.5	はいの種類 はいの型	荷役運搬機械等によるはい作業の方法等に関する知識	学 科	2.5	荷役運搬機械等によるはい付け及びはいくずしの方法 荷役運搬機械等の点検及び整備の方法	災害事例	学 科	1	災害事例研究	関係法令	学 科	1	労働安全衛生関係法令中の関係条項		学 科	5	
項目	学科・実習別	時間数	内 容																								
はいに関する知識	学 科	0.5	はいの種類 はいの型																								
荷役運搬機械等によるはい作業の方法等に関する知識	学 科	2.5	荷役運搬機械等によるはい付け及びはいくずしの方法 荷役運搬機械等の点検及び整備の方法																								
災害事例	学 科	1	災害事例研究																								
関係法令	学 科	1	労働安全衛生関係法令中の関係条項																								
	学 科	5																									
到達目標	荷役運搬機械を使用した安全作業を学び資格を取得させる。																										
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。																										
使用教材教科書	「荷役運搬機械等によるはい作業の安全」を配付する。 (発行元：陸上貨物運送事業労働災害防止協会)																										
参考文献																											
メモ																											

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 伐木等の業務に係る特別教育 (「伐木・造材」「林業機械の点検及び整備」に含まれる。)			
講師等	・林業研修部職員 ・民間専門講師			
習得時間	3回 計18時間			
背景と目的	伐木作業における労働災害を防止するため、チェーンソーによる伐木作業の基本を徹底して学ぶ。			
研修内容	労働安全衛生規則第三十六条第八号に掲げる業務に係る特別教育として、学科教育及び実技教育を実施し、伐木等の作業に関する知識を習得させる。			
研修計画	項目	学科・実習別	時間数	内 容
	伐木等作業に関する知識	学 科	4	伐倒の方法、伐倒の合図、退避の方法、かかり木の種類及びその処理、造材の方法、下肢の切創防止用保護衣等の着用
	チェーンソーに関する知識	学 科	2	チェーンソーの種類、構造及び取扱い方法、チェーンソーの点検及び整備の方法、ソーチェーンの目立ての方法
	振動障害及びその予防に関する知識	学 科	2	振動障害の原因及び症状 振動障害の予防措置
	関係法令	学 科	1	労働安全衛生関係法令中の関係条項及び関係通達中の関係条項
	伐木等の方法	実 習	5	伐木の方法、かかり木の処理方法、造材の方法、下肢の切創防止用保護衣等の着用
	チェーンソーの操作	実 習	2	基本操作 応用操作
	チェーンソーの点検及び整備	実 習	2	チェーンソーの点検及び整備の方法 ソーチェーンの目立ての方法
		学 科 実 習	9 9	
到達目標	チェーンソーを使用した安全作業を学び資格を取得させる。			
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テスト等で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。			
使用教材教科書	「チェーンソー作業の安全ナビ」を配付する。 (発行元：林業・木材製造業労働災害防止協会)			
参考文献				
メモ				

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 クレーンの運転の業務に係る特別教育																																						
講師等	・民間専門講師																																						
習得時間	2回 計13時間																																						
背景と目的	制限荷重5トン未満のクレーンの運転の業務を安全に進めるための必要な知識等を学ぶ。																																						
研修内容	労働安全衛生規則第三十六条第一五号のイに掲げる制限荷重5トン未満のクレーンの運転の業務に係る特別教育として、学科教育及び実技教育を実施し、クレーンの運転の業務に関する知識を習得させる。																																						
研修計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学科・実習別</th> <th>時間数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーンに関する知識</td> <td>学 科</td> <td>3</td> <td>種類及び形式 主要構造部分 作業装置 安全装置 ブレーキ機能 取扱い方法</td> </tr> <tr> <td>原動機及び電気に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>3</td> <td>電気に関する知識 電動機 開閉器、コントローラー等電気を通ずる器具 電路の点検 及び補修 感電による危険性</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>労働安全衛生法</td> </tr> <tr> <td>クレーンの運転のために必要な力学に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>2</td> <td>力 重心 ワイヤロープ、 フック及びつり具の強さ ワイヤロープの掛け方と荷重の関係</td> </tr> <tr> <td>クレーンの運転</td> <td>実 習</td> <td>3</td> <td>重量の確認 荷のつり上げ 定められた経路による運搬 荷の卸し</td> </tr> <tr> <td>クレーン運転のための合図</td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td>合図の方法</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学 科</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実 習</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	学科・実習別	時間数	内 容	クレーンに関する知識	学 科	3	種類及び形式 主要構造部分 作業装置 安全装置 ブレーキ機能 取扱い方法	原動機及び電気に関する知識	学 科	3	電気に関する知識 電動機 開閉器、コントローラー等電気を通ずる器具 電路の点検 及び補修 感電による危険性	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法	クレーンの運転のために必要な力学に関する知識	学 科	2	力 重心 ワイヤロープ、 フック及びつり具の強さ ワイヤロープの掛け方と荷重の関係	クレーンの運転	実 習	3	重量の確認 荷のつり上げ 定められた経路による運搬 荷の卸し	クレーン運転のための合図	実 習	1	合図の方法		学 科	9			実 習	4	
項目	学科・実習別	時間数	内 容																																				
クレーンに関する知識	学 科	3	種類及び形式 主要構造部分 作業装置 安全装置 ブレーキ機能 取扱い方法																																				
原動機及び電気に関する知識	学 科	3	電気に関する知識 電動機 開閉器、コントローラー等電気を通ずる器具 電路の点検 及び補修 感電による危険性																																				
関係法令	学 科	1	労働安全衛生法																																				
クレーンの運転のために必要な力学に関する知識	学 科	2	力 重心 ワイヤロープ、 フック及びつり具の強さ ワイヤロープの掛け方と荷重の関係																																				
クレーンの運転	実 習	3	重量の確認 荷のつり上げ 定められた経路による運搬 荷の卸し																																				
クレーン運転のための合図	実 習	1	合図の方法																																				
	学 科	9																																					
	実 習	4																																					
到達目標	クレーンを使用した安全作業を学び資格を取得させる。																																						
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テストで評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。																																						
使用教材 教科書	「クレーンの運転」を配付する。 (発行元：日本クレーン協会)																																						
参考文献																																							
メモ																																							

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 高性能林業機械等特別教育			
講師	・民間専門講師 ・林業研修部職員			
習得時間	4回 計24時間			
背景と目的	伐木等機械、走行集材機械、簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転（道路上を走行させる運転を除く。）の業務を安全に進めるための必要な知識等を学ぶ。			
研修内容	労働安全衛生規則第三十六条第六号の二及び三並びに第七号の二に掲げる業務に係る特別教育として、学科教育及び実技教育を実施し各機械装置等の運転の業務に関する知識を習得させる。			
研修計画	項目	学科・実習別	時間数	内 容
	簡易架線集材装置の集材機及び架線集材機械に関する知識	学 科	1	簡易架線集材装置の種類、構造及び機能の概要
	架線集材機械の走行及び作業に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識	学 科	1	架線集材機械の構造及び機能の概要、架線集材機械の走行架線集材機械による作業の一般的注意事項
	簡易架線集材装置及び架線集材機械の運転に必要な一般的事項に関する知識	学 科	1	簡易架線集材装置及び架線集材機械の運行等 簡易架線集材装置及び架線集材機械の点検及び整備
	関係法令	学 科	2	労働安全衛生関係法令中の関係条項
	伐木等機械に関する知識	学 科	1	伐木等機械の種類、構造及び機能の概要
	伐木等機械の作業に関する知識	学 科	2	伐木等機械による作業の一般的注意事項
	走行集材機械に関する知識	学 科	1	走行集材機械の種類、構造及び機能の概要
	走行集材機械の作業に関する知識	学 科	2	走行集材機械による作業の一般的注意事項
	簡易架線集材装置の集材機の運転及び架線集材機械の作業のための装置の操作	実 習	3	基本操作 応用操作
	伐木等機械の作業のための装置の操作	実 習	4	基本操作 応用操作
	走行集材機械の作業のための装置の操作	実 習	3	基本操作 応用操作
	車 両 整 備	学 科	1	実習車両の整備、部品交換等の点検・メンテナンス
		実 習	2	
	学 科	12		
	実 習	12		
到達目標	高性能林業機械を使用した安全作業を学び資格を取得させる。			
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テストで評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。			
使用教材教科書	「車両系林業機械安全マニュアル」を配付する。 (発行元：林業・木材製造業労働災害防止協会)			
参考文献				
メモ				

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育																																		
講師	・民間専門講師																																		
習得時間	2回 計14時間																																		
背景と目的	機械集材装置の運転の業務を安全に進めるための必要な知識等を学ぶ。																																		
研修内容	労働安全衛生規則第三十六条第七号に掲げる業務に係る特別教育として、学科教育及び実技教育を実施し、機械集材装置の運転の業務に関する知識を習得させる。																																		
研修計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学科・実習別</th> <th>時間数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械集材装置に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>3</td> <td>機械集材装置の集材機の種類、構造及び取扱いの方法 機械集材装置の索張り方式 集材方法</td> </tr> <tr> <td>ワイヤロープに関する知識</td> <td>学 科</td> <td>2</td> <td>ワイヤロープの種類 ワイヤロープの止め方及び 継ぎ方の種類</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>法令及び安衛則中の関係条項</td> </tr> <tr> <td>機械集材装置の集材機の運転</td> <td>実 習</td> <td>4</td> <td>基本操作 応用運転</td> </tr> <tr> <td>ワイヤロープの取扱い</td> <td>実 習</td> <td>4</td> <td>ワイヤロープの止め方、 継ぎ方及び点検方法</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学 科</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実 習</td> <td>8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	学科・実習別	時間数	内 容	機械集材装置に関する知識	学 科	3	機械集材装置の集材機の種類、構造及び取扱いの方法 機械集材装置の索張り方式 集材方法	ワイヤロープに関する知識	学 科	2	ワイヤロープの種類 ワイヤロープの止め方及び 継ぎ方の種類	関係法令	学 科	1	法令及び安衛則中の関係条項	機械集材装置の集材機の運転	実 習	4	基本操作 応用運転	ワイヤロープの取扱い	実 習	4	ワイヤロープの止め方、 継ぎ方及び点検方法		学 科	6			実 習	8	
項目	学科・実習別	時間数	内 容																																
機械集材装置に関する知識	学 科	3	機械集材装置の集材機の種類、構造及び取扱いの方法 機械集材装置の索張り方式 集材方法																																
ワイヤロープに関する知識	学 科	2	ワイヤロープの種類 ワイヤロープの止め方及び 継ぎ方の種類																																
関係法令	学 科	1	法令及び安衛則中の関係条項																																
機械集材装置の集材機の運転	実 習	4	基本操作 応用運転																																
ワイヤロープの取扱い	実 習	4	ワイヤロープの止め方、 継ぎ方及び点検方法																																
	学 科	6																																	
	実 習	8																																	
到達目標	機械集材機を使用した安全作業を学び資格を取得させる。																																		
成績評価の方法・基準	出席及び受講態度、小テストで評価する。 担当職員が受講態度を5段階、小テストの正解率を5段階にて評価する。																																		
使用教材教科書	「集材機運転者安全必携」を配付する。 (発行元：林業・木材製造業労働災害防止協会)																																		
参考文献																																			
メモ																																			

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 玉掛け技能講習																																															
講師	登録教習機関に委託																																															
習得時間	3回 計21時間																																															
背景と目的	クレーン等の種類、特徴、構造、各機能、安全装置等を理解するとともに、安全に作業を進めるための必要な知識等を学び、玉掛け業務の資格を得る。																																															
研修内容	労働安全衛生法第七十六条に掲げる技能講習																																															
研修計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学科・実習別</th> <th>時間数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン等に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>種類及び型式 構造及び機能安全装置及びブレーキ</td> </tr> <tr> <td>クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>3</td> <td>力（合成、分解、つり合い及びモーメント） 重心及び物の安定 摩擦 質量速度及び加速度 荷重 応力 玉掛け用具の強さ</td> </tr> <tr> <td>クレーン等の玉掛けの方法</td> <td>学 科</td> <td>7</td> <td>玉掛けの一般的な作業方法 玉掛け用具の選定及び使用の方法 基本動作（安全作業方法を含む。） 合図の方法</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>労働安全衛生法</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>学科試験</td> </tr> <tr> <td>クレーン等の玉掛け</td> <td>実 習</td> <td>6</td> <td>質量目測 玉掛け用具の選定及び使用 定められた方法による0.5ト以上の質量を有する荷についての玉掛けの基本作業及び応用作業</td> </tr> <tr> <td>クレーン等の運転のための合図</td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td>手、小旗等を用いて行う合図</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td>実技試験</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学 科</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実 習</td> <td>8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	学科・実習別	時間数	内 容	クレーン等に関する知識	学 科	1	種類及び型式 構造及び機能安全装置及びブレーキ	クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識	学 科	3	力（合成、分解、つり合い及びモーメント） 重心及び物の安定 摩擦 質量速度及び加速度 荷重 応力 玉掛け用具の強さ	クレーン等の玉掛けの方法	学 科	7	玉掛けの一般的な作業方法 玉掛け用具の選定及び使用の方法 基本動作（安全作業方法を含む。） 合図の方法	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法	試 験	学 科	1	学科試験	クレーン等の玉掛け	実 習	6	質量目測 玉掛け用具の選定及び使用 定められた方法による0.5ト以上の質量を有する荷についての玉掛けの基本作業及び応用作業	クレーン等の運転のための合図	実 習	1	手、小旗等を用いて行う合図	試 験	実 習	1	実技試験		学 科	13			実 習	8	
	項目	学科・実習別	時間数	内 容																																												
	クレーン等に関する知識	学 科	1	種類及び型式 構造及び機能安全装置及びブレーキ																																												
	クレーン等の玉掛けに必要な力学に関する知識	学 科	3	力（合成、分解、つり合い及びモーメント） 重心及び物の安定 摩擦 質量速度及び加速度 荷重 応力 玉掛け用具の強さ																																												
	クレーン等の玉掛けの方法	学 科	7	玉掛けの一般的な作業方法 玉掛け用具の選定及び使用の方法 基本動作（安全作業方法を含む。） 合図の方法																																												
	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法																																												
	試 験	学 科	1	学科試験																																												
	クレーン等の玉掛け	実 習	6	質量目測 玉掛け用具の選定及び使用 定められた方法による0.5ト以上の質量を有する荷についての玉掛けの基本作業及び応用作業																																												
	クレーン等の運転のための合図	実 習	1	手、小旗等を用いて行う合図																																												
	試 験	実 習	1	実技試験																																												
	学 科	13																																														
	実 習	8																																														
到達目標	玉掛け業務に必要な知識を学び安全作業を行えるよう、基本動作等を学び資格を取得させる。																																															
成績評価の方法・基準	学科試験及び実技試験結果 学科試験及び実技試験結果の正解率で5段階の評価をする。																																															
使用教材教科書	「玉掛け作業者必携」を配付する。 (発行元：日本クレーン協会)																																															
参考文献																																																
メモ																																																

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 小型移動式クレーン運転技能講習																																															
講師	登録教習機関に委託																																															
習得時間	3 計 22 時間																																															
背景と目的	クレーン等の種類、特徴、構造、各機能、安全装置等を理解するとともに、作業を安全に進めるための必要な知識を学び、小型移動式クレーン運転（道路上の走行を除く。）業務の資格を得る。																																															
研修内容	労働安全衛生法第七十六条に掲げる技能講習																																															
研修計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学科・実習別</th> <th>時間数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型移動式クレーンに関する知識</td> <td>学 科</td> <td>6</td> <td>種類及び型式 主要構造部分 つり上げ、起伏、旋回等の作動 をする装置 安全装置 ブレーキ機能 取扱い方法</td> </tr> <tr> <td>原動機及び電気に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>3</td> <td>内燃機関 油圧駆動方式 感電による危険性</td> </tr> <tr> <td>運転に必要な力学に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>3</td> <td>力（合成、分解、つり合い及び モーメント） 重心 重量 速度及び加速度 荷重 応力 材料の強さ ワイヤロープ、 フック及びつり具の強さ ワイヤロープの掛け方と荷重の 関係</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>労働安全衛生法</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>学科試験</td> </tr> <tr> <td>運 転</td> <td>実 習</td> <td>6</td> <td>基本操作 重量の確認 荷のつり上げ 定められた経路による運搬 定位置への荷の卸し</td> </tr> <tr> <td>運転のための合図</td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td>荷のつり上げ、荷の卸し、 荷の水平移動等の合図</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td>実技試験</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学 科</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実 習</td> <td>8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	学科・実習別	時間数	内 容	小型移動式クレーンに関する知識	学 科	6	種類及び型式 主要構造部分 つり上げ、起伏、旋回等の作動 をする装置 安全装置 ブレーキ機能 取扱い方法	原動機及び電気に関する知識	学 科	3	内燃機関 油圧駆動方式 感電による危険性	運転に必要な力学に関する知識	学 科	3	力（合成、分解、つり合い及び モーメント） 重心 重量 速度及び加速度 荷重 応力 材料の強さ ワイヤロープ、 フック及びつり具の強さ ワイヤロープの掛け方と荷重の 関係	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法	試 験	学 科	1	学科試験	運 転	実 習	6	基本操作 重量の確認 荷のつり上げ 定められた経路による運搬 定位置への荷の卸し	運転のための合図	実 習	1	荷のつり上げ、荷の卸し、 荷の水平移動等の合図	試 験	実 習	1	実技試験		学 科	14			実 習	8	
	項目	学科・実習別	時間数	内 容																																												
	小型移動式クレーンに関する知識	学 科	6	種類及び型式 主要構造部分 つり上げ、起伏、旋回等の作動 をする装置 安全装置 ブレーキ機能 取扱い方法																																												
	原動機及び電気に関する知識	学 科	3	内燃機関 油圧駆動方式 感電による危険性																																												
	運転に必要な力学に関する知識	学 科	3	力（合成、分解、つり合い及び モーメント） 重心 重量 速度及び加速度 荷重 応力 材料の強さ ワイヤロープ、 フック及びつり具の強さ ワイヤロープの掛け方と荷重の 関係																																												
	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法																																												
	試 験	学 科	1	学科試験																																												
	運 転	実 習	6	基本操作 重量の確認 荷のつり上げ 定められた経路による運搬 定位置への荷の卸し																																												
	運転のための合図	実 習	1	荷のつり上げ、荷の卸し、 荷の水平移動等の合図																																												
	試 験	実 習	1	実技試験																																												
	学 科	14																																														
	実 習	8																																														
到達目標	小型移動式クレーンを使用した安全作業学び、資格を取得させる。																																															
成績評価の方法・基準	学科試験及び実技試験結果 学科試験及び実技試験結果の正解率で5段階の評価をする。																																															
使用教材 教科書	「小型移動式クレーンの運転」を配付する。 (発行元：日本クレーン協会)																																															
参考文献																																																
メモ																																																

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 車両系建設機械（整地・運搬・積み込み用及び掘削用）運転技能講習			
講師	・民間専門講師			
習得時間	6回 40時間			
背景と目的	整地・運搬・積み込み用機械（ブルドーザ、トラクターショベルなど）、掘削用機械（ドラグショベルなど）の構造、取扱い、作業方法等を理解するとともに、作業を安全に進めるための必要な知識等を学び、車両系建設機械（整地等）運転（道路上の走行を除く）業務の資格を得る。			
研修内容	労働安全衛生法第七十六条に掲げる技能講習			
研修計画	項目	学科・実習別	時間数	内 容
	走行に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識	学 科	4	車両系建設機械の原動機、動力伝達装置、走行装置、かじ取り装置、ブレーキ、電気装置、警報装置及び走行に関する附属装置の構造及び取扱い方法
	作業に関する装置の構造、取扱い及び作業方法に関する知識	学 科	5	車両系建設機械の種類及び用途 作業装置及び作業に関する付属装置の構造及び取扱いの方法 車両系建設機械による一般的作業方法
	運転に必要な一般的事項に関する知識	学 科	3	車両系建設機械の運転に必要な力学及び土質工学土木施工の方法
	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項
	試 験	学 科	1	学科試験
	走行の操作	実 習	20	基本操作 定められたコースによる基本走行及び応用走行
	作業のための装置の操作	実 習	5	基本操作 定められた方法による基本施工及び応用施工
	試 験	実 習	1	実技試験
		学 科	14	
	実 習	26		
到達目標	車両系建設機械を使用した安全作業を学び資格を取得させる。			
成績評価の方法・基準	学科試験及び実技試験結果 学科試験及び実技試験結果の正解率で5段階の評価をする。			
使用教材教科書	「車両系建設機械運転者教本」を配付する。 (発行元：キャタピラー教習所)			
参考文献				
メモ				



林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 車両系建設機械（解体用）運転技能講習																																						
講師	・民間専門講師																																						
習得時間	1回 計7時間																																						
背景と目的	解体用機械（ブレーカーなど）の構造、取扱い、作業方法等を理解するとともに、作業を安全に進めるための必要な知識等を学び、車両系建設機械（解体用）運転（道路上の走行を除く）業務の資格を得る。																																						
研修内容	労働安全衛生法第七十六条に掲げる技能講習																																						
研修計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学科・実習別</th> <th>時間数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業に関する装置の構造、取扱い及び作業方法に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>2</td> <td>車両系建設機械（解体用）の種類及び用途、作業に関する附属装置装置等の構造及び取扱いの方法 車両系建設機械（解体用）の一般的作業方法</td> </tr> <tr> <td>運転に必要な一般的事項に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>0.5</td> <td>車両系建設機械（解体用）の運転に必要な力学 コンクリート造、鉄骨造又は木造の工作物等の種類及び構造 建設施工の方法</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>学 科</td> <td>0.5</td> <td>労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>学科試験</td> </tr> <tr> <td>作業のための装置の操作</td> <td>実 習</td> <td>2</td> <td>基本操作 定められた方法による 基本施工及び応用施工</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td>実技試験</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学 科</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実 習</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	学科・実習別	時間数	内 容	作業に関する装置の構造、取扱い及び作業方法に関する知識	学 科	2	車両系建設機械（解体用）の種類及び用途、作業に関する附属装置装置等の構造及び取扱いの方法 車両系建設機械（解体用）の一般的作業方法	運転に必要な一般的事項に関する知識	学 科	0.5	車両系建設機械（解体用）の運転に必要な力学 コンクリート造、鉄骨造又は木造の工作物等の種類及び構造 建設施工の方法	関係法令	学 科	0.5	労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項	試 験	学 科	1	学科試験	作業のための装置の操作	実 習	2	基本操作 定められた方法による 基本施工及び応用施工	試 験	実 習	1	実技試験		学 科	4			実 習	3	
項目	学科・実習別	時間数	内 容																																				
作業に関する装置の構造、取扱い及び作業方法に関する知識	学 科	2	車両系建設機械（解体用）の種類及び用途、作業に関する附属装置装置等の構造及び取扱いの方法 車両系建設機械（解体用）の一般的作業方法																																				
運転に必要な一般的事項に関する知識	学 科	0.5	車両系建設機械（解体用）の運転に必要な力学 コンクリート造、鉄骨造又は木造の工作物等の種類及び構造 建設施工の方法																																				
関係法令	学 科	0.5	労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項																																				
試 験	学 科	1	学科試験																																				
作業のための装置の操作	実 習	2	基本操作 定められた方法による 基本施工及び応用施工																																				
試 験	実 習	1	実技試験																																				
	学 科	4																																					
	実 習	3																																					
到達目標	解体用機械の安全作業を学び、資格を取得させる。																																						
成績評価の方法・基準	学科試験及び実技試験結果 学科試験及び実技試験結果の正解率で5段階の評価をする。																																						
使用教材教科書	「車両系建設機械運転者教本」を配付する。 (発行元：キャタピラー教習所)																																						
参考文献																																							
メモ																																							

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 不整地運搬車運転技能講習																																							
講師	登録教習機関に委託																																							
習得時間	2回 計13時間																																							
背景と目的	不整地運搬車の構造、取扱い、荷の運搬等を理解するとともに、作業を安全に進めるための必要な知識等を学び、不整地運搬車運転（道路上の走行を除く）業務の資格を得る。																																							
研修内容	労働安全衛生法第七十六条に掲げる技能講習																																							
研修計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学科・実習別</th> <th>時間数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荷の運搬に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>4</td> <td>不整地運搬車の荷役装置及び油圧装置の構造及び取扱いの方法並びに荷の積卸し及び運搬の方法</td> </tr> <tr> <td>運転に必要な力学に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>2</td> <td>力（合成、分解、つり合い及びモーメント） 重量 重心及び物の安定 速度及び加速度 荷重</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>学科試験</td> </tr> <tr> <td>荷 の 運 搬</td> <td>実 習</td> <td>4</td> <td>基本操作 定められた方法による荷の運搬</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td>実技試験</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学 科</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実 習</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	学科・実習別	時間数	内 容	荷の運搬に関する知識	学 科	4	不整地運搬車の荷役装置及び油圧装置の構造及び取扱いの方法並びに荷の積卸し及び運搬の方法	運転に必要な力学に関する知識	学 科	2	力（合成、分解、つり合い及びモーメント） 重量 重心及び物の安定 速度及び加速度 荷重	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項	試 験	学 科	1	学科試験	荷 の 運 搬	実 習	4	基本操作 定められた方法による荷の運搬	試 験	実 習	1	実技試験		学 科	8			実 習	5	
	項目	学科・実習別	時間数	内 容																																				
	荷の運搬に関する知識	学 科	4	不整地運搬車の荷役装置及び油圧装置の構造及び取扱いの方法並びに荷の積卸し及び運搬の方法																																				
	運転に必要な力学に関する知識	学 科	2	力（合成、分解、つり合い及びモーメント） 重量 重心及び物の安定 速度及び加速度 荷重																																				
	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項																																				
	試 験	学 科	1	学科試験																																				
	荷 の 運 搬	実 習	4	基本操作 定められた方法による荷の運搬																																				
	試 験	実 習	1	実技試験																																				
	学 科	8																																						
	実 習	5																																						
到達目標	不整地運搬車を使用した安全作業を学び、資格を取得させる。																																							
成績評価の方法・基準	学科試験及び実技試験結果 学科試験及び実技試験結果の正解率で5段階の評価をする。																																							
使用教材教科書	「不整地運搬車運転者教本」を配付する。 (発行元：建設業労働災害防止協会)																																							
参考文献																																								
メモ																																								

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【資格取得】 フォークリフト運転技能講習																																															
講師	登録教習機関に委託																																															
習得時間	6回 計37時間																																															
背景と目的	フォークリフトの構造、取扱い、作業方法等を理解するとともに、作業を安全に進めるための必要な知識等を学び、フォークリフト運転（道路上の走行を除く）業務の資格を得る。																																															
研修内容	労働安全衛生法第七十六条に掲げる技能講習																																															
研修計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学科・実習別</th> <th>時間数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>走行に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>4</td> <td>フォークリフトの原動機、動力伝達装置、走行装置、かじ取り装置及び制動装置並びに方向指示器、警報装置その他フォークリフトの走行に関する付属装置の構造及び取扱いの方法</td> </tr> <tr> <td>荷役に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>4</td> <td>フォークリフトの荷役装置、油圧装置（安全弁を含む。）、ヘッドガード及びバックレスト並びにラム、バケットその他のフォークリフトの荷役に関する付属装置の構造及び取扱いの方法</td> </tr> <tr> <td>運転に必要な力学に関する知識</td> <td>学 科</td> <td>2</td> <td>力（合成、分解、つり合い及びモーメント） 重量 重心及び物の安定 速度及び加速度 荷重 応力 材料の強さ</td> </tr> <tr> <td>関係法令</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>学 科</td> <td>1</td> <td>学科試験</td> </tr> <tr> <td>走行の操作</td> <td>実 習</td> <td>20</td> <td>基本操作 定められたコースによる基本走行及び応用走行</td> </tr> <tr> <td>荷役の操作</td> <td>実 習</td> <td>4</td> <td>基本操作 フォークの抜き差し荷の配列及び積み重ね</td> </tr> <tr> <td>試 験</td> <td>実 習</td> <td>1</td> <td>実技試験</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学 科</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実 習</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	学科・実習別	時間数	内 容	走行に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識	学 科	4	フォークリフトの原動機、動力伝達装置、走行装置、かじ取り装置及び制動装置並びに方向指示器、警報装置その他フォークリフトの走行に関する付属装置の構造及び取扱いの方法	荷役に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識	学 科	4	フォークリフトの荷役装置、油圧装置（安全弁を含む。）、ヘッドガード及びバックレスト並びにラム、バケットその他のフォークリフトの荷役に関する付属装置の構造及び取扱いの方法	運転に必要な力学に関する知識	学 科	2	力（合成、分解、つり合い及びモーメント） 重量 重心及び物の安定 速度及び加速度 荷重 応力 材料の強さ	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項	試 験	学 科	1	学科試験	走行の操作	実 習	20	基本操作 定められたコースによる基本走行及び応用走行	荷役の操作	実 習	4	基本操作 フォークの抜き差し荷の配列及び積み重ね	試 験	実 習	1	実技試験		学 科	12			実 習	25	
	項目	学科・実習別	時間数	内 容																																												
	走行に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識	学 科	4	フォークリフトの原動機、動力伝達装置、走行装置、かじ取り装置及び制動装置並びに方向指示器、警報装置その他フォークリフトの走行に関する付属装置の構造及び取扱いの方法																																												
	荷役に関する装置の構造及び取扱いの方法に関する知識	学 科	4	フォークリフトの荷役装置、油圧装置（安全弁を含む。）、ヘッドガード及びバックレスト並びにラム、バケットその他のフォークリフトの荷役に関する付属装置の構造及び取扱いの方法																																												
	運転に必要な力学に関する知識	学 科	2	力（合成、分解、つり合い及びモーメント） 重量 重心及び物の安定 速度及び加速度 荷重 応力 材料の強さ																																												
	関係法令	学 科	1	労働安全衛生法、令及び労働安全衛生規則中の関係条項																																												
	試 験	学 科	1	学科試験																																												
	走行の操作	実 習	20	基本操作 定められたコースによる基本走行及び応用走行																																												
	荷役の操作	実 習	4	基本操作 フォークの抜き差し荷の配列及び積み重ね																																												
	試 験	実 習	1	実技試験																																												
	学 科	12																																														
	実 習	25																																														
到達目標	フォークリフトを使用した安全作業を学び、資格を取得させる。																																															
成績評価の方法・基準	学科試験及び実技試験結果 学科試験及び実技試験結果の正解率で5段階の評価をする。																																															
使用教材 教科書	「フォークリフト運転者教本」を配付する。 (発行元：キャタピラー教習所)																																															
参考文献																																																
メモ																																																

林業研修部「林業経営コース」令和5年度 シラバス

科目名	【その他】 インターンシップ修了報告
講師	林業研修部職員
習得時間	1回 計6時間
背景と目的	インターンシップで体験したこと、そして自分で考えことをまとめ、就業に向けた課題を明確にし、その解決策を探る。
研修内容	◆インターンシップで体験した内容や感想、就業に向けて見えてきた課題を報告 1人20分発表、質疑10分
研修計画	○(演習)6h 林業研修部職員 各研修生が取りまとめたレポート(パワーポイント)を報告
到達目標	インターンシップ研修の体験を通じて就業後の将来を意識し、自らその課題解決等を考える。
成績評価の方法・基準	出席、レポートの提出で評価する。 担当職員が受講態度を5段階、レポートを5段階にて評価する。
使用教材 教科書	
参考文献	
メモ	



## 林業経営コース 受講態度・習得度 評価基準

受講態度評価

評価	基準
5	大変良い
4	良い
3	普通
2	多少問題あり
1	問題あり

習得度(小テスト)評価

評価	基準 (%)
5	81 ~ 100
4	61 ~ 80
3	41 ~ 60
2	21 ~ 40
1	0 ~ 20

習得度(レポート)評価

評価	基準
5	講習内容を良く理解し、 確実に表現出来ている
4	講習内容を良く理解し、 概ね表現出来ている
3	講習内容を理解している
2	講習内容を概ね理解して いる
1	講習内容を全く理解して いない

習得度(実習)評価

評価	基準
5	講習内容を良く理解し、 確実に実践出来ている
4	講習内容を良く理解し、 概ね実践出来ている
3	講習内容を理解している
2	講習内容を概ね理解して いる
1	講習内容を全く理解して いない

令和5年度和歌山県農林大学校林業研修部【林業経営コース】

年月日	午前 午後	日数	大科目	科 目	内 容	座学	実習	講 師 等	備考
R5. 4. 1									
R5. 4. 2									
R5. 4. 3									
R5. 4. 4									
R5. 4. 5	午前 午後	0.5	11 入講式	式典・オリエンテーション				関係者、林業研修部職員	
R5. 4. 6	午前 午後	0.5 0.5	01 基本能力	01 森林・林業の概要	森林・林業基礎知識	3		林業振興課職員	
			01 基本能力	01 森林・林業の概要	和歌山県林業の概況SDGs	3		林業振興課職員	
R5. 4. 7	午前 午後	0.5 0.5	01 基本能力	04 林業算術		3		林業研修部職員	
			01 基本能力	04 林業算術		3		林業研修部職員	
R5. 4. 8	午前 午後								
R5. 4. 9	午前 午後								
R5. 4. 10	午前 午後	0.5 0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	地植え・植栽・一貫作業システム	3		林業研修部職員	
			02 育林・造林技術	04 育林技術	除伐・枝打ち	3		林業研修部職員	
R5. 4. 11	午前 午後	0.5 0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	間伐	3		林業研修部職員	
			02 育林・造林技術	04 育林技術	間伐	3		林業研修部職員	
R5. 4. 12	午前 午後	0.5 0.5	03 森林・林業経営	02 経営を学ぶ	林業事業者の概要	3		林業研修部職員	
			02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備の基本	3		林業研修部職員	
R5. 4. 13	午前 午後	0.5 0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材 (伐木造材基礎講習)	伐木等の業務に係る特別教育	3		林業研修部職員	
			02 育林・造林技術	05 伐木・造材 (伐木造材基礎講習)	伐木等の業務に係る特別教育	4		林業研修部職員	
R5. 4. 14	午前 午後	0.5 0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材 (伐木造材基礎講習)	伐木等の業務に係る特別教育	3		林業研修部職員	
			02 育林・造林技術	05 伐木・造材 (伐木造材基礎講習)	伐木等の業務に係る特別教育	4		林業研修部職員	
R5. 4. 15	午前 午後								
R5. 4. 16	午前 午後								
R5. 4. 17	午前 午後	0.5 0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	下刈りの目的等、刈払機取り扱い安全教育	3		林業研修部職員	
			02 育林・造林技術	04 育林技術	下刈りの目的等、刈払機取り扱い安全教育	2	1	林業研修部職員	
R5. 4. 18	午前 午後	0.5 0.5	01 基本能力	04 体の使い方、ケガをしない体づくり	ケガをしない体づくり、現場での体の使い方、チェーンソーブレードの歩行練習 北大	1	2	民間専門講師	
			01 基本能力	04 体の使い方、ケガをしない体づくり	ケガをしない体づくり、現場での体の使い方、チェーンソーブレードの歩行練習 北大	3		民間専門講師	
R5. 4. 19	午前 午後	0.5 0.5	01 基本能力	04 山登り	北大	3		民間専門講師、林業研修部職員	
			01 基本能力	04 山登り	北大	3		民間専門講師、林業研修部職員	
R5. 4. 20	午前 午後	0.5 0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	道具の使い方と手入れ 北大	3		民間専門講師	
			02 育林・造林技術	04 育林技術	道具の使い方と手入れ 北大	3		民間専門講師	
R5. 4. 21	午前 午後	0.5 0.5	02 育林・造林技術	01 樹木	森林生態の基礎	3		民間専門講師	
			02 育林・造林技術	01 樹木	森林生態の基礎	3		民間専門講師	
R5. 4. 22	午前 午後								
R5. 4. 23	午前 午後								
R5. 4. 24	午前 午後	0.5 0.5	02 育林・造林技術	02 育苗技術	育苗の基礎、林木育種の基礎、森林の遺伝的管理 (エリートツリー等)	3		林業試験場職員	
			02 育林・造林技術	02 育苗技術	育苗と管理技術	3		林業試験場職員	
R5. 4. 25	午前 午後	0.5 0.5	08 林業機械	02 林業機械の点検及び整備	チェーンソーに関する知識	2		民間専門講師	
			08 林業機械	02 林業機械の点検及び整備	チェーンソーの点検及び整備	4		民間専門講師	
R5. 4. 26	午前 午後	0.5 0.5	08 林業機械	02 林業機械の点検及び整備	チェーンソーの点検及び整備	3		民間専門講師	
			08 林業機械	02 林業機械の点検及び整備	チェーンソーの点検及び整備	3		民間専門講師	
R5. 4. 27	午前 午後	0.5 0.5	08 林業機械	02 林業機械の点検及び整備	刈払機の点検及び整備	1.5	1.5	民間専門講師	
			08 林業機械	02 林業機械の点検及び整備	刈払機の点検及び整備	3		民間専門講師	
R5. 4. 28	午前 午後	0.5 0.5	07 里山保全	02 特用林産	特用林産物の概要	3		林業振興課職員	
			07 里山保全	02 特用林産	コウヤマキ現場見学	3		民間専門講師	
R5. 4. 29	午前 午後								
R5. 4. 30	午前 午後								

令和5年度和歌山県農林大学校林業研修部【林業経営コース】

年月日	午前 午後	日数	大科目	科 目	内 容	座学	実習	講 師 等	備考
R5.5.1	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	コンパス測量の基本、周囲測量	2	1	林業研修部職員	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	コンパス測量の基本、周囲測量		3	林業研修部職員	
R5.5.2	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	コンパス測量成果を製図、面積算出	3		林業研修部職員	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	コンパス測量成果を製図、面積算出	3		林業研修部職員	
R5.5.3	午前								
R5.5.4	午前								
R5.5.5	午前								
R5.5.6	午前								
R5.5.7	午前								
R5.5.8	午前	0.5	01 基本能力	11 コミュニケーション能力	コミュニケーション力を高める	3		民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	11 コミュニケーション能力	コミュニケーション力を高める	3		民間専門講師	
R5.5.9	午前	0.5	03 森林・林業経営	04 森林計画制度及び森林経営管理制度の概要	森林法、森林・林業基本法、森林計画制度	3		林業振興課職員	
	午後	0.5	03 森林・林業経営	04 森林計画制度及び森林経営管理制度の概要	森林経営管理制度及び森林環境譲与税、森林認証制度	3		林業振興課職員	
R5.5.10	午前	0.5	02 育林・造林技術	01 樹木	針葉樹と広葉樹の違いについて	3		林業試験場職員	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	01 樹木	針葉樹と広葉樹の違いについて	3		林業試験場職員	
R5.5.11	午前	0.5	04 木材利用	01 木材加工	木材とその加工	3		林業試験場職員	
	午後	0.5	04 木材利用	01 木材加工	木材とその加工	3		林業試験場職員	
R5.5.12	午前	0.5	01 基本能力	02 林業労働と労働安全衛生	チェーンソー防護衣等の必要性	3		森林総合研究所職員	
	午後	0.5	10 資格取得	01 普通救命講習		3		消防署職員	
R5.5.13	午前								
R5.5.14	午前								
R5.5.15	午前	0.5	03 森林・林業経営	04 森林計画制度及び森林経営管理制度の概要	保安林制度、林地開発制度、伐採及び伐採後の造林の届出制度	3		森林整備課職員	
	午後	0.5	03 森林・林業経営	05 森林経営計画	造林関係補助事業の概要	3		森林整備課職員	
R5.5.16	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
R5.5.17	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
R5.5.18	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
R5.5.19	午前	0.5	04 木材利用	01 木材加工	木材とその加工	3		林業試験場職員	
	午後	0.5	04 木材利用	01 木材加工	木材とその加工	3		林業試験場職員	
R5.5.20	午前								
R5.5.21	午前								
R5.5.22	午前	0.5	03 森林・林業経営	01 先進事例	森林及び林業の動向	3		林業研修部職員	
	午後	0.5	08 林業機械	01 林業機械化概論	林業機械の種類、機械化の意義、目的、問題点	3		林業研修部職員	
R5.5.23	午前	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	道具の使い方と手入れ（下刈り目立て）		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	道具の使い方と手入れ（下刈り目立て）		3	民間専門講師	
R5.5.24	午前	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	和歌山県の地質の特徴	3		県立自然博物館職員	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	和歌山県の地質の特徴	3		県立自然博物館職員	
R5.5.25	午前	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	和歌山県の地質の特徴	3		県立自然博物館職員	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	和歌山県の地質の特徴	3		県立自然博物館職員	
R5.5.26	午前	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	下刈り実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	下刈り実習		3	民間専門講師	
R5.5.27	午前								
R5.5.28	午前								
R5.5.29	午前	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	下刈り実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	下刈り実習		3	民間専門講師	
R5.5.30	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道の概要	3		林業研修部職員	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道の概要	3		民間専門講師	
R5.5.31	午前	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	道具の使い方と手入れ（ロープワーク）		3	林業研修部職員	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	道具の使い方と手入れ（ロープワーク）		3	林業研修部職員	



令和5年度和歌山県農林大学校林業研修部【林業経営コース】

年月日	午前 午後	日数	大科目	科 目	内 容	座学	実習	講 師 等	備考
R5.6.1	午前	0.5	01 基本能力	09 自己研鑽セミナー	グループワーク、チームビルディング	3		民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	09 自己研鑽セミナー	グループワーク、チームビルディング	3		民間専門講師	
R5.6.2	午前	0.5	01 基本能力	09 自己研鑽セミナー	グループワーク、チームビルディング	3		民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	09 自己研鑽セミナー	グループワーク、チームビルディング	3		民間専門講師	
R5.6.3	午前								
	午後								
R5.6.4	午前								
	午後								
R5.6.5	午前	0.5	07 里山保全	02 特用林産	様々な特用林産物の栽培	3		林業試験場職員	
	午後	0.5	07 里山保全	02 特用林産	様々な特用林産物の栽培	3		林業試験場職員	
R5.6.6	午前	0.5	03 森林・林業経営	02 経営を学ぶ	森林組合	3		民間専門講師	
	午後	0.5	04 木材利用	02 木材産業	木材流通における原木市場の機能・今後の展望	3		民間専門講師	
R5.6.7	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	森林調査実習OWLを使った森林情報分析 日高川町有林		3	林業研修部職員	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	森林調査実習OWLを使った森林情報分析 日高川町有林		3	林業研修部職員	
R5.6.8	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	森林調査実習OWLを使った森林情報分析 日高川町有林		3	林業研修部職員	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	森林調査実習OWLを使った森林情報分析 日高川町有林		3	林業研修部職員	
R5.6.9	午前	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	ワードとエクセルの基本操作	3		民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	ワードとエクセルの基本操作	3		民間専門講師	
R5.6.10	午前								
	午後								
R5.6.11	午前								
	午後								
R5.6.12	午前	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	ワードとエクセルの基本操作	3		民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	ワードとエクセルの基本操作	3		民間専門講師	
R5.6.13	午前	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	ワードとエクセルの基本操作	3		民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	ワードとエクセルの基本操作	3		民間専門講師	
R5.6.14	午前	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	ワードとエクセルの基本操作	3		民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	ワードとエクセルの基本操作	3		民間専門講師	
R5.6.15	午前	0.5	10 資格取得	07 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	07 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育			3	民間専門講師	
R5.6.16	午前	0.5	10 資格取得	07 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	07 機械集材装置の運転の業務に係る特別教育			5	民間専門講師	
R5.6.17	午前								
	午後								
R5.6.18	午前								
	午後								
R5.6.19	午前	0.5	10 資格取得	01 普通救命講習	救急講習	3		日本赤十字社職員	
	午後	0.5	01 基本能力	02 林業労働と労働安全衛生	林業労働対策の概要	3		林業研修部職員	
R5.6.20	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
R5.6.21	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
R5.6.22	午前	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			4	民間専門講師	
R5.6.23	午前	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			4	民間専門講師	
R5.6.24	午前								
	午後								
R5.6.25	午前								
	午後								
R5.6.26	午前	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			4	民間専門講師	
R5.6.27	午前	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			4	民間専門講師	
R5.6.28	午前	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			3	民間専門講師	
R5.6.29	午前	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	10 車両系建設機械（整地等）技能講習			3	民間専門講師	
R5.6.30	午前	0.5	10 資格取得	11 車両系建設機械（解体）技能講習			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	11 車両系建設機械（解体）技能講習			1	3	民間専門講師

令和5年度和歌山県農林大学校林業研修部【林業経営コース】

年月日	午前 午後	日数	大科目	科 目	内 容	座学	実習	講 師 等	備考
R5.7.1	午前 午後								
R5.7.2	午前 午後								
R5.7.3	午前	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	CAD操作：CAD操作の基本	3		林業研修部職員	
	午後	0.5	01 基本能力	05 統計処理、情報処理	CAD操作：CAD操作の基本	3		林業研修部職員	
R5.7.4	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	航空レーザやドローンの計測データによる森林	3		民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	資源の情報分析・管理、生産計画作成等への活用	3		民間専門講師	
R5.7.5	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	航空レーザやドローンの計測データによる森林	3		民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	資源の情報分析・管理、生産計画作成等への活用	3		民間専門講師	
R5.7.6	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	航空レーザやドローンの計測データによる森林	3		民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	資源の情報分析・管理、生産計画作成等への活用	3		民間専門講師	
R5.7.7	午前	0.5	04 木材利用	02 木材産業	木材流通と木材産業の概要	3		林業試験場職員	
	午後	0.5	04 木材利用	02 木材産業	木材加工所見学		3	民間専門講師	
R5.7.8	午前 午後								
R5.7.9	午前 午後								
R5.7.10	午前	0.5	03 森林・林業経営	05 森林経営計画	森林経営計画制度、作成の基本	3		林業振興課職員	
	午後	0.5	03 森林・林業経営	05 森林経営計画	森林経営計画作成の基本、作成演習	3		民間専門講師	
R5.7.11	午前	0.5	03 森林・林業経営	05 森林経営計画	森林経営計画作成の基本、作成演習	3		民間専門講師	
	午後	0.5	03 森林・林業経営	05 森林経営計画	森林経営計画作成演習	3		民間専門講師	
R5.7.12	午前	0.5	03 森林・林業経営	05 森林経営計画	森林経営計画作成演習	3		民間専門講師	
	午後	0.5	03 森林・林業経営	05 森林経営計画	森林経営計画作成演習、仕上げ	3		民間専門講師	
R5.7.13	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
R5.7.14	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習		3	民間専門講師	
R5.7.15	午前 午後								
R5.7.16	午前 午後								
R5.7.17	午前 午後								
R5.7.18	午前	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	森林を読む		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	森林を読む		3	民間専門講師	
R5.7.19	午前	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	森林を読む		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	森林を読む		3	民間専門講師	
R5.7.20	午前	0.5	10 資格取得	05 クレーンの運転の業務に係る特別教育		3		民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	05 クレーンの運転の業務に係る特別教育		4		民間専門講師	
R5.7.21	午前	0.5	10 資格取得	05 クレーンの運転の業務に係る特別教育		2	1	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	05 クレーンの運転の業務に係る特別教育		3		民間専門講師	
R5.7.22	午前 午後								
R5.7.23	午前 午後								
R5.7.24	午前	0.5	10 資格取得	08 玉掛け技能講習		3		登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	08 玉掛け技能講習		2		登録教習機関に委託	
R5.7.25	午前	0.5	10 資格取得	08 玉掛け技能講習		3		登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	08 玉掛け技能講習		5		登録教習機関に委託	
R5.7.26	午前	0.5	10 資格取得	08 玉掛け技能講習			3	登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	08 玉掛け技能講習			5	登録教習機関に委託	
R5.7.27	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	伐木造材作業の安全衛生向上	3		民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	伐木造材作業の安全衛生向上	3		民間専門講師	
R5.7.28	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習 追加分		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習 追加分		3	民間専門講師	
R5.7.29	午前 午後								
R5.7.30	午前 午後								
R5.7.31	午前	0.5	03 森林・林業経営	02 経営を学ぶ	伐採と植栽の一貫システムの推進とコンテナ苗の活用		3	民間専門講師	
	午後	0.5	03 森林・林業経営	02 経営を学ぶ	伐採と植栽の一貫システムの推進とコンテナ苗の活用		3	民間専門講師	

令和5年度和歌山県農林大学校林業研修部【林業経営コース】

年月日	午前 午後	日数	大科目	科 目	内 容	座学	実習	講 師 等	備考
R5.8.1	午前	0.5	10 資格取得	06 高性能林業機械等特別教育			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	06 高性能林業機械等特別教育			3	民間専門講師	
R5.8.2	午前	0.5	10 資格取得	06 高性能林業機械等特別教育			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	06 高性能林業機械等特別教育			2	民間専門講師	
R5.8.3	午前	0.5	10 資格取得	06 高性能林業機械等特別教育			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	06 高性能林業機械等特別教育			4	民間専門講師	
R5.8.4	午前	0.5	10 資格取得	06 高性能林業機械等特別教育			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	06 高性能林業機械等特別教育			1	2 林業研修部職員	
R5.8.5	午前								
R5.8.5	午後								
R5.8.6	午前								
R5.8.6	午後								
R5.8.7	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	GISの基礎、基本操作		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	GISの基礎、基本操作		3	民間専門講師	
R5.8.8	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	GNSS測量観測方法の基本、測量方法、測量実習、ドローンの活用		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	GNSS測量観測方法の基本、測量方法、測量実習、ドローンの活用		3	民間専門講師	
R5.8.9	午前	0.5	03 森林・林業経営	03 木材生産	林業機械の生産性に影響する林相、路網整備		3	民間専門講師	
	午後	0.5	03 森林・林業経営	03 木材生産	林業機械の生産性に影響する林相、路網整備		3	民間専門講師	
R5.8.10	午前								
	午後								
R5.8.11	午前								
R5.8.11	午後								
R5.8.12	午前								
R5.8.12	午後								
R5.8.13	午前								
R5.8.13	午後								
R5.8.14	午前								
R5.8.14	午後								
R5.8.15	午前								
R5.8.15	午後								
R5.8.16	午前								
R5.8.16	午後								
R5.8.17	午前	0.5	02 育林・造林技術	02 育苗技術	コンテナ苗等の育苗と管理技術		3	林業研修部職員	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	02 育苗技術	コンテナ苗等の育苗と管理技術 大阪へ移動		3	民間専門講師	
R5.8.18	午前	0.5	04 木材利用	02 木材産業	木材流通（見学）		3	民間専門講師	
	午後	0.5	04 木材利用	02 木材産業	木材流通（見学）		3	民間専門講師	
R5.8.19	午前								
R5.8.19	午後								
R5.8.20	午前								
R5.8.20	午後								
R5.8.21	午前	0.5	04 木材利用	03 木造建築	木造建築の基本		3	民間専門講師	
	午後	0.5	04 木材利用	03 木造建築	木造建築の基本		3	民間専門講師	
R5.8.22	午前	0.5	04 木材利用	03 木造建築	木造建築の基本		3	民間専門講師	
	午後	0.5	04 木材利用	03 木造建築	木造建築の基本		3	民間専門講師	
R5.8.23	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	既設作業道の見学		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	既設作業道の見学		3	民間専門講師	
R5.8.24	午前	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
R5.8.25	午前	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
R5.8.26	午前								
R5.8.26	午後								
R5.8.27	午前								
R5.8.27	午後								
R5.8.28	午前	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			4	登録教習機関に委託	
R5.8.29	午前	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3.5	登録教習機関に委託	
R5.8.30	午前	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3.5	登録教習機関に委託	
R5.8.31	午前	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	13 フォークリフト運転技能講習			2	登録教習機関に委託	

令和5年度和歌山県農林大学校林業研修部【林業経営コース】

年月日	午前 午後	日数	大科目	科目	内容	座学	実習	講師等	備考
R5.9.1	午前	0.5	02 育林・造林技術	01 樹木	植生観察、樹木選別		3	林業試験場職員	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	01 樹木	植生観察、樹木選別		3	林業試験場職員	
R5.9.2	午前								
	午後								
R5.9.3	午前								
	午後								
R5.9.4	午前	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	森林管理手法の取り組み事例	3		民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	01 森林情報	森林管理手法の取り組み事例	3		民間専門講師	
R5.9.5	午前	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術			3	和歌山森林管理署	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術			3	和歌山森林管理署	
R5.9.6	午前	0.5	07 里山保全	01 鳥獣害対策			3	和歌山森林管理署	
	午後	0.5	07 里山保全	01 鳥獣害対策			3	和歌山森林管理署	
R5.9.7	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ各事業体説明会		3		受入事業体、林業研修部職員	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ各事業体説明会		3		受入事業体、林業研修部職員	
R5.9.8	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ各事業体説明会		3		受入事業体、林業研修部職員	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ各事業体説明会		3		受入事業体、林業研修部職員	
R5.9.9	午前								
	午後								
R5.9.10	午前								
	午後								
R5.9.11	午前	0.5	10 資格取得	09 小型移動式クレーン運転技能講習		3		登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	09 小型移動式クレーン運転技能講習		4		登録教習機関に委託	
R5.9.12	午前	0.5	10 資格取得	09 小型移動式クレーン運転技能講習		3		登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	09 小型移動式クレーン運転技能講習		4		登録教習機関に委託	
R5.9.13	午前	0.5	10 資格取得	09 小型移動式クレーン運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	09 小型移動式クレーン運転技能講習			5	登録教習機関に委託	
R5.9.14	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習 追加分		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習 追加分		3	民間専門講師	
R5.9.15	午前	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習 追加分		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	森林整備演習 追加分		3	民間専門講師	
R5.9.16	午前								
	午後								
R5.9.17	午前								
	午後								
R5.9.18	午前								
	午後								
R5.9.19	午前	0.5	10 資格取得	12 不整地運搬車運転技能講習		3		登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	12 不整地運搬車運転技能講習		5		登録教習機関に委託	
R5.9.20	午前	0.5	10 資格取得	12 不整地運搬車運転技能講習			3	登録教習機関に委託	
	午後	0.5	10 資格取得	12 不整地運搬車運転技能講習			2	登録教習機関に委託	
R5.9.21	午前	0.5	01 基本能力	09 自己研鑽セミナー	目標設定と研究テーマの考察	3		民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	09 自己研鑽セミナー	目標設定と研究テーマの考察	3		民間専門講師	
R5.9.22	午前	0.5	01 基本能力	09 自己研鑽セミナー	目標設定と研究テーマの考察	3		民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	09 自己研鑽セミナー	目標設定と研究テーマの考察	3		民間専門講師	
R5.9.23	午前								
	午後								
R5.9.24	午前								
	午後								
R5.9.25	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
R5.9.26	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
R5.9.27	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
R5.9.28	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
R5.9.29	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道補修実習		3	民間専門講師	
R5.9.30	午前								
	午後								

令和5年度和歌山県農林大学校林業研修部【林業経営コース】

年月日	午前 午後	日数	大科目	科 目	内 容	座学	実習	講 師 等	備考
R5.10.1	午前 午後								
R5.10.2	午前	0.5	03 森林・林業経営	03 木材生産	林業機械の活用方法、組み合わせ、操作体験		3	民間専門講師	
	午後	0.5	03 森林・林業経営	03 木材生産	林業機械の活用方法、組み合わせ、操作体験		3	民間専門講師	
R5.10.3	午前	0.5	10 資格取得	03 荷役運搬機械によるはい作業 安全教育			3	民間専門講師	
	午後	0.5	10 資格取得	03 荷役運搬機械によるはい作業 安全教育			2	民間専門講師	
R5.10.4	午前	0.5	07 里山保全	01 鳥獣害対策	防除ネット設置状況、ネットメンテナ ンス		3	民間専門講師	
	午後	0.5	07 里山保全	01 鳥獣害対策	防除ネット設置状況、ネットメンテナ ンス		3	民間専門講師	
R5.10.5	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	現地踏査、測量		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	現地踏査、測量		3	民間専門講師	
R5.10.6	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道作設実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道作設実習		3	民間専門講師	
R5.10.7	午前 午後								
R5.10.8	午前 午後								
R5.10.9	午前 午後								
R5.10.10	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道作設実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道作設実習		3	民間専門講師	
R5.10.11	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道作設実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道作設実習		3	民間専門講師	
R5.10.12	午前	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道作設実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	03 作業道作設技術	作業道作設実習		3	民間専門講師	
R5.10.13	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①準備打合せ			3	林業研修部職員	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①準備打合せ			3	林業研修部職員	
R5.10.14	午前 午後								
R5.10.15	午前 午後								
R5.10.16	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.17	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.18	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.19	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.20	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.21	午前 午後								
R5.10.22	午前 午後								
R5.10.23	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.24	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.25	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.26	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.27	午前	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
	午後	0.5	09 外部	01 インターンシップ①			3	受入事業体	
R5.10.28	午前 午後								
R5.10.29	午前 午後								
R5.10.30	午前	0.5	04 木材利用	03 木造建築	木造住宅（見学）		3	民間専門講師	
	午後	0.5	01 基本能力	02 林業労働と労働安全衛生	安全対策への取り組み（リスクアセスメント）		3	林業研修部職員	
R5.10.31	午前	0.5	08 林業機械	04 機械式集材機と油圧式集材機	集材機の種類、特性		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	05 伐木・造材	伐木造材作業の労働安全性向上		3	森林総合研究所研究員	

令和5年度和歌山県農林大学校林業研修部【林業経営コース】

年月日	午前 午後	日数	大科目	科 目	内 容	座学	実習	講 師 等	備考
R5. 11. 1	午前	0.5	08 林業機械	04 機械式集材機と油圧式集材機	架線集材現地見学		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	04 機械式集材機と油圧式集材機	架線集材現地見学		3	民間専門講師	
R5. 11. 2	午前	0.5	08 林業機械	04 機械式集材機と油圧式集材機	油圧集材機・架線式グラップル操作		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	04 機械式集材機と油圧式集材機	油圧集材機・架線式グラップル操作		3	民間専門講師	
R5. 11. 3	午前 午後								
R5. 11. 4	午前 午後								
R5. 11. 5	午前 午後								
R5. 11. 6	午前	0.5	08 林業機械	05 無人航空機	無人航空機の種類・用途・関係法令		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	05 無人航空機	無人航空機の種類・用途・関係法令		3	民間専門講師	
R5. 11. 7	午前	0.5	08 林業機械	05 無人航空機	測量、林業架線の索張り、苗木運搬の操作方法		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	05 無人航空機	測量、林業架線の索張り、苗木運搬の操作方法		3	民間専門講師	
R5. 11. 8	午前	0.5	08 林業機械	05 無人航空機	測量、林業架線の索張り、苗木運搬の操作方法		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	05 無人航空機	測量、林業架線の索張り、苗木運搬の操作方法		3	民間専門講師	
R5. 11. 9	午前	0.5	02 育林・造林技術	03 病虫害対策	種類と防除法		3	林業試験場職員	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	03 病虫害対策	被害木の確認		3	林業試験場職員	
R5. 11. 10	午前	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	枝打ち実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	枝打ち実習		3	民間専門講師	
R5. 11. 11	午前 午後								
R5. 11. 12	午前 午後								
R5. 11. 13	午前	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	枝打ち実習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	02 育林・造林技術	04 育林技術	枝打ち実習		3	民間専門講師	
R5. 11. 14	午前	0.5	06 森林評価	01 森林・木材の適正評価			3	民間専門講師	
	午後	0.5	06 森林評価	01 森林・木材の適正評価			3	民間専門講師	
R5. 11. 15	午前	0.5	06 森林評価	01 森林・木材の適正評価			3	民間専門講師	
	午後	0.5	06 森林評価	01 森林・木材の適正評価			3	民間専門講師	
R5. 11. 16	午前	0.5	06 森林評価	01 森林・木材の適正評価			3	民間専門講師	
	午後	0.5	06 森林評価	01 森林・木材の適正評価			3	民間専門講師	
R5. 11. 17	午前	0.5	06 森林評価	01 森林・木材の適正評価			3	民間専門講師	
	午後	0.5	06 森林評価	01 森林・木材の適正評価		3	民間専門講師		
R5. 11. 18	午前 午後								
R5. 11. 19	午前 午後								
R5. 11. 20	午前	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	ハーベストシミュレーターを使用した練習、土場や作業道での基本練習		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
R5. 11. 21	午前	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
R5. 11. 22	午前	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
R5. 11. 23	午前 午後								
R5. 11. 24	午前	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	森林を読む		3	民間専門講師	
	午後	0.5	05 森林路網・計測	02 地形と地質	森林を読む		3	民間専門講師	
R5. 11. 25	午前 午後								
R5. 11. 26	午前 午後								
R5. 11. 27	午前	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
R5. 11. 28	午前	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
R5. 11. 29	午前	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
R5. 11. 30	午前	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	
	午後	0.5	08 林業機械	03 高性能林業機械操作	土場や作業道での基本練習、作業効率を考慮した機械の配置・操作方法		3	民間専門講師	









